

Canon

EOS 5D Mark IV

SEASONS OF FIVE

四季がFIVEを呼んでいる。



作品づくりは、現場で完成している。

米美知子は知っている。自然は人間の思い通りにはならないことを。ありのまま、すべてを受け止めて、その状況で作品を生み出す。

「ある意味、現場で作品づくりは完成しています。極端にいえば、JPEG撮って出しでもいいくらい」。ただし、最終的に作品の完成度を高めるうえで、RAWで記録することが重要だと語る。

被写体を見つけたら、構図を変えたり、ピント位置を変えたり、シャッタースピードを変えたりして、ベストなカットを狙う。現場でしかできないことを、現場でやる。何のことはない。フィルム時代から続けてきたやり方だ。後調整がしやすいデジタルでも、それは変わらない。だから撮影後のワークフローは、とてもシンプルだ。撮影から帰って来たら、



まず撮った写真をバックアップして、画像を軽くチェックする。この段階では、細かなピントやブレなどのチェックはしないという。仕事で写真を提供する時や作品発表時に、最終的なセレクトをする。RAW現像もこのタイミングで行う。「撮影現場ではいつも、ワンフレームで露出を変え3枚撮ります。基本は適正露出のカットを使いますが、場合によって使えません。相手は自然ですからね。意図していない

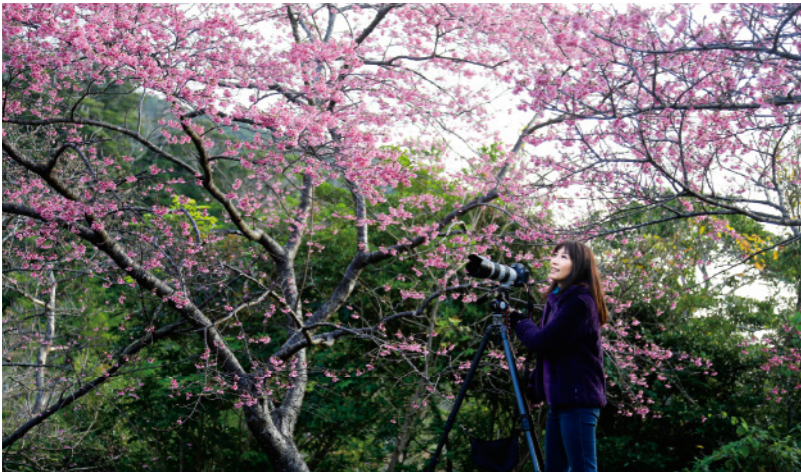
写真になっていないことがあります。拡大して見ると風で葉っぱがブレていたり、虫が写り込んでいたり。でもRAWで撮っているので、別カットを選んで露出調整だけで仕上げられます」。では、どのような視点でセレクトを行っているのだろうか。

「わたしは、依頼されて写真を撮りに行くことはありません。常に作品を撮りに行っています。その中から、ご要望に合わせてベストな作品をセレクトしています。発表されている写真はすべて、わたしが見つけた「宝もの」なんです」。



セレクトした作品は、完成度を高める微調整をし、現像を行い、プリントする。プリントしてから、セレクトした作品が変わることは、ほとんどない。セレクトや現像にあまり

時間を費やさないのは、帰って来たら、すでに次の撮影のことで頭がいっぱいだからだ。次はどこへ行く。何を撮ろうと情報収集に入るという。もし、撮った写真にゴールがあるとしたら、「後から見ても、撮った！撮れてる！ありがとうって自然に感謝できたなら、そこがゴールだと思います」。日本の風景が、どこかでまた、米美知子と呼ばれる。



米 美知子
独学で写真をはじめ、アマチュア時代には全国規模コンテストで数々の賞を受賞。日本の素晴らしい自然と色彩美を独創的な視点で表現。中でも表情豊かな森に魅せられ、北海道から西表島まで日本の森を撮り歩く。「夢のある表情豊かな作品」をテーマに精力的に撮り続けている。

POWER OF FIVE

あなたの写真に新しい力を。



EOS 5D Mark IV



EOSは2019年9月に累計生産台数1億^{※1}、交換レンズRF/EFレンズシリーズ^{※2}は2021年1月に累計生産本数1億5,000万本を達成しました。
※1 映像制作用シネマカメラを含む。※2 RFレンズ、EFレンズ、EF-Sレンズ、EF-Mレンズ、EFシネマレンズ、エクステンダーを含む。2021年2月3日時点。

EOS 5D Mark IV(WG)・ボディ
JANコード:4549292-075748
商品コード:1483C001

EOS 5D Mark IV(WG)・EF24-105L IS II USM レンズキット
JANコード:4549292-075854
商品コード:1483C009

*すべてオープン価格。オープン価格の商品は販売店にお問い合わせください。

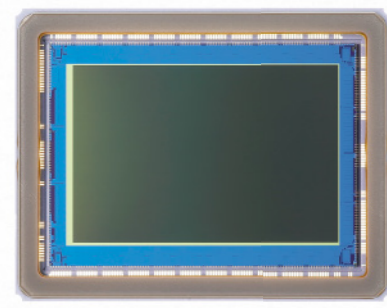
解像力を高めたうえで、さらなる高感度性能を手に入れた。新しい世界が、また切り拓かれる。

空気感、臨場感まで描写する

35mmフルサイズ

約3040万画素CMOSセンサー

フルサイズの可能性を切り拓いてきたEOS 5Dシリーズ。着実に進化を繰り返し、高画素化とさらなる高感度化の両立を果たした約3040万画素フルサイズCMOSセンサー（画面サイズ：約36.0×24.0mm）を搭載。その解像力は、対峙する光景の空気感、臨場感までも描き出します。そして最高ISO32000（常用ISO感度）の高感度、さらに低ノイズ化も実現。表現力だけでなく、撮影領域までも拡大。それは、35mmフルサイズCMOSセンサーを自社開発・生産するキヤノンの強みです。また、より滑らかな階調表現を可能にする広ダイナミックレンジや、約7コマ/秒の高速連続撮影を支える高速読み出しを達成するべく、新規微細プロセス、新規フォトダイオード構造、新カラーフィルターを採用しました。撮影者の無限の想像力に応えます。



新開発：約3040万画素35mmフルサイズCMOSセンサー。高解像力を重視し、ローパス効果をEOS 5D Mark IIIよりも弱めに設定。

総合的な高画質化を実現する

EOSシーン解析システムが

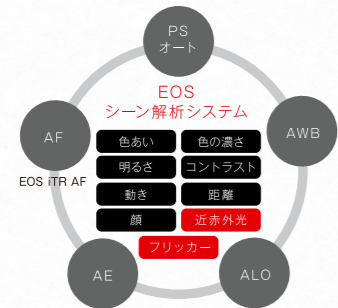
さらに精度を向上

キヤノン独自のEOSシーン解析システムが、従来機種に比べさらに高精度化。RGBに加え近赤外光を含む波長領域の検知、フリッカー検知を可能にする測光センサーを搭載することで、AF、AE、オートホワイトバランス、ピクチャースタイルオート、オートライティングオプティマイザなどの制御精度がさらに向上しました。また、顔検知と色追尾機能により、自動選択AF時のAF精度も向上。動く被写体への追従性能もアップしています。

撮影時カメラ内で

デジタルレンズオプティマイザを実行

画像本来の解像力を、厳密な補正により復元するデジタルレンズオプティマイザ*1。キヤノン独自の画像補正技術で、カメラ内で実行可能に。レンズ光学補正で対応できない各種収差



総合的な画質のさらなる向上を実現（PS：ピクチャースタイル、AWB：オートホワイトバランス、ALO：オートライティングオプティマイザ、AE：自動露出、AF：オートフォーカス）

（コマ収差、サジタルハロ、非点収差、球面収差など）や、ローパスフィルターが画像に与える影響などを、詳細な光学設計値に基づいて厳密に補正します。RAWだけでなく、JPEG撮影時でも補正可能です。また公開済みの補正データをすべてカメラに内蔵。使用レンズに合わせて追加・登録することなく*2*3、補正を行うことができます。

*1 すべての画像で効果を保証するものではありません。
*2 一部、補正用データが用意されていないレンズもあります。
*3 今後発売されるレンズに関しては、EOS Utilityを介してカメラに追加登録することが必要です。

撮影時に回折補正をはじめ

さまざまなレンズ光学補正を実現

レンズを絞り込んで撮影したいときに気になる回折現象。この光学的影響をカメラ内で撮影時に補正可能なため、積極的に絞り込んだ撮影が行えます。また、ローパスフィルターなどの影響による解像劣化にも補正効果を発揮。大口径レンズの開放付近で撮影したときでも、より鮮鋭感の高い画像が得られます。そのほか、色収差（倍率／軸上色収差）、周辺光量、歪曲収差の



デジタルレンズオプティマイザの原理
付属ソフトウェア「Digital Photo Professional」を介さず、カメラ単独で完結できるため、パソコンを媒介せずに高画質な作品づくりが行えます。

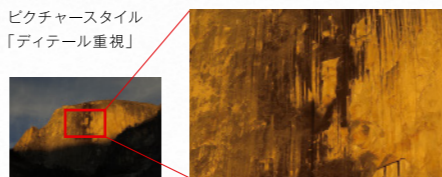
補正も可能。すべて、JPEG撮影時でも補正できるため、ワークフローの効率化にも貢献します。公開済みのすべての光学補正データをカメラに内蔵。今後発売されるレンズはデータをレンズ内に備えているため、カメラへの登録は不要です。

解像感を重視した描写を可能にする

ピクチャースタイルに

「ディテール重視」を搭載

「スタンダード」や「風景」よりも細部の表現力を重視した「ディテール重視」を搭載。約3040万画素の解像力や階調性を活かした表現に有効です。ピクチャースタイルの詳細設定「シャープネス」で新たに設定できるようになった「細かさ」と「しきい値」の初期設定はそれぞれ[1]。「細かさ」と「しきい値」は、解像感や質感の微妙な設定を意図に合わせて調整できます。ピクチャースタイルの種類は、「ディテール重視」のほか「スタンダード」「ポートレート」「風景」「ニュートラル」「忠実設定」「モノクロ」を含む全7種です。



繊細な質感を描写するため、階調性を重視し「コントラスト」は低めに設定（「スタンダード」比）。後処理なしで作品を完成できるよう、彩度は「スタンダード」同等。
[シャープネス：「細かさ」「しきい値」]
「細かさ」：設定値を小さくするほど、より細かな輪郭線にまで強調処理されます。
「しきい値」：設定値を小さくするほど、よりコントラスト差の少ない輪郭線にまで強調処理されます。

常用ISO感度は

最高32000

拡張ISOは最高102400

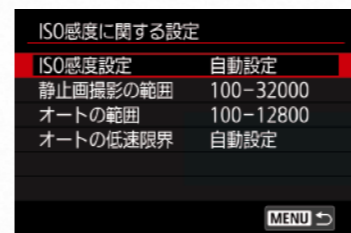
新開発CMOSセンサーと、DIGIC 6+（プラス）の連携による新ノイズ低減処理で、常用ISO感度は100～32000*を達成。曇天や夕暮れ、室内などで、速いシャッター速度が欲しいとき、積極的に感度を上げて撮影できます。感度拡張によって、ISO50(L)、ISO51200(H1)、ISO102400(H2)相当の設定も可能。闇夜に潜む野生動物の生態に迫ることなどもできます。

* ISO感度は、すべて推奨露光指数です。

ISOオート時の

シャッター速度低速限界

ISO感度をカメラが自動で設定するISOオート。プログラムAEと絞り優先AE時のシャッター速度低速限界の範囲が手動で1/8000秒～1秒まで1段ステップで設定可能に。また自動設定時は制御特性を[遅め／標準／速め]で



ISO感度に関する設定
常用ISO感度100～32000を実現。進化したノイズ低減処理で、高感度設定時でも、クリアな描写が可能。

設定（7段階）することも。たとえば[速め]設定時は、超望遠レンズ使用時の手ブレ対策、広角レンズ使用時の被写体ブレに効果を発揮します。

高画質・高感度や

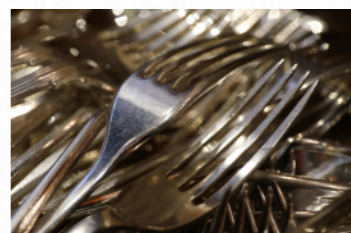
カメラ性能を飛躍的に向上させた

映像エンジンDIGIC 6+

EOS 5D Mark IVの頭脳として機能する、映像エンジンDIGIC 6+を新たに採用。約3040万画素も大容量データを高速で処理し、高画質な画像へと変換します。また静止画の常用最高ISO感度32000の達成にも貢献。さらに撮影時カメラ内デジタルレンズオプティマイザ、回折補正、4K/30P動画撮影、HDハイフレームレート（120P/100P）撮影、動画HDR、タイムラプス動画など、さまざまな機能の実現にも貢献しています。フロントエンドICとDIGIC 6+とのセットで高速に信号処理を行うことにより、最高約7コマ/秒の高速連続撮影をも可能にしています。



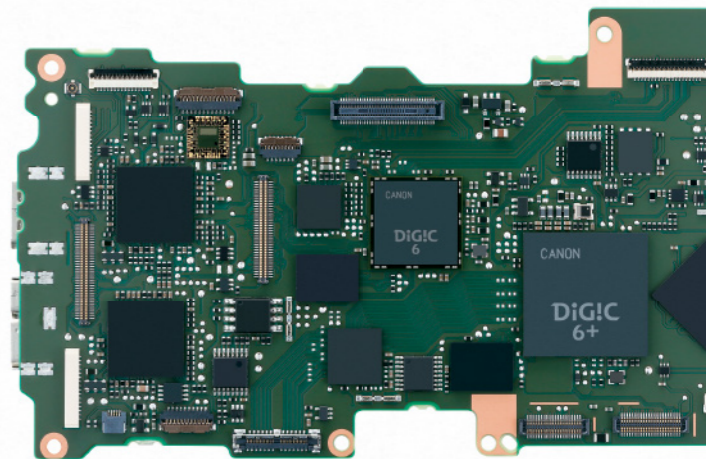
オート（雰囲気優先）
新たに搭載したオートホワイトバランス「オート（ホワイト優先）」は、白熱電球下などでも赤みを抑え、白を「白く」表現。



オート（ホワイト優先）

映像エンジンDIGIC 6+

静止画常用ISO感度32000。撮影時カメラ内デジタルレンズオプティマイザをはじめ、各種レンズ光学補正、DPRAW撮影、4K/30P動画撮影、HDハイフレームレート（120P/100P）撮影、動画HDR、タイムラプス動画など、さまざまな新機能の実現にも貢献。



高感度撮影時に有効な

マルチショットノイズ低減機能

ノイズ低減機能として「長時露光撮影時のノイズ低減」と「高感度撮影時のノイズ低減」の2つの機能を採用しました。長時露光撮影時は[しない／自動／する]、高感度撮影時は[しない／弱め／標準／強め／マルチショットノイズ低減機能*]から選べます。マルチショットノイズ低減機能*は、1回のシャッターで4枚の画像を撮影し、カメラ内で自動合成。解像感を保ったまま、よりノイズの少ない1枚の画像を生成することができます。

* RAW設定時にはマルチショットノイズ低減は選択できません。

オートホワイトバランスに

ホワイト優先が追加

白熱電球などの光源下で、オートホワイトバランス（AWB）で撮影する際、その特性を選択できるようになりました。「オート（雰囲気優先）*1」に設定すると、従来通り、光源の赤みを残した暖かみのある表現に仕上がります。

一方の「オート（ホワイト優先）*2」は赤みを抑制。より忠実に白を表現したいときに有効な機能です。ホワイトバランスモードを切り換えなくても、忠実な色再現性が得られます。

*1 従来のEOSのオートホワイトバランスと同特性です。
*2 光源の種類によっては意図した効果が得られない場合があります。

現像時に解像感補正や

前ボケの移動などができる

新たな記録画質DPRAW*

画像の解像感をもう少し高めたい。意図しない場所に前ボケが入ってしまった。さらにゴーストを抑えたいといった、撮影結果を現像時に補正できる新たな記録画質DPRAW（デュアルピクセルRAW）を搭載。付属ソフトウェア「Digital Photo Professional 4」で、解像感の低い印象の画像を補正する[解像感補正]、前ボケを移動できる[ボケシフト]、フレアにも有効な[ゴースト低減]の3つの後処理が可能になりました。作品づくりにおける最終的なファインチューニングとして有効です。

* すべての画像に効果があるものではありません。
* 制限事項に関しては、キヤノンホームページをご覧ください。



あらゆる動きに対応し、高精度な捕捉を実現。つかんだら離さない新AF。

動体の捕捉性能がさらに進化

61点高密度レティクルAF II

解像力や高感度など、描写力だけでEOS 5D Mark IVは語れません。動体の捕捉性能の向上のためにEOS-1D X Mark IIと同じAFセンサーを採用。61点高密度レティクルAF IIにより、測距点数はEOS 5D Mark IIIと同じでも、測距性能は大幅に向上。測距エリア、測距輝度範囲の拡大、全点F8測距対応など、動体撮影をメインに活動する、ハイレベルな撮影者にも応えます。

[F2.8:5点、最大41点のクロス測距]

使用頻度の高い中央部縦5点は、デュアルクロス測距に対応。開放F2.8のレンズ使用時、より敏感な焦点検出が可能です。また、開放F4のLレンズ、あるいはF2.8のLレンズとエクステンダー EF1.4×IIIの組み合わせ時は、最大41点(F4.0+F5.6:20点、F5.6+F5.6:21点)のクロス測距が可能。被写体パターンの

影響を受けにくいいため、左右のAFエリアでも優れた捕捉能力を発揮します。

[測距エリアを上下に拡大]

フルサイズの広い視界の中で、より被写体を捕捉しやすく、構図の自由度を高めるため、測距エリアを上下に拡大。動きの激しいスポーツや素早く動く野生動物の撮影に、より強くなりました。

[千鳥配列2ライン測距]

全測距点において、千鳥配列2ライン測距に対応しています。1ライン測距よりも細かいパターンに対する焦点検出が可能。2ライン測距は、1点AFとスポット1点AF時のみ有効です。

全点F8測距に対応

エクステンダー撮影でも

最大61点でのAFが可能

はるか遠くで躍動する野生動物をはじめ、鉄道

や飛行機、スポーツシーンなど、エクステンダーを使用したい撮影シーンはさまざま。EOS 5D Mark IVは、最大61点*(内クロス21点)、すべての測距点でF8測距が可能なので、エクステンダー使用時でもAFが作動。開放F4のLレンズとエクステンダーEF2×IIIを組み合わせて行うことができます。また、測距エリア選択モードの「自動選択」「ゾーンAF」が設定できるため、EOS iTR AFを活用した被写体追尾も可能。被写体を捉えにくい超遠望撮影時も、高密度の測距点が有効に機能し、的確な動体捕捉と高いピント精度を発揮します。

* レンズの組み合わせによっては61点選択をできない場合があります。

低輝度限界EV-3

これまで困難だった暗所での

AF撮影が可能

AFセンサーの表面に反射防止層を形成する、新しいプロセスを採用。透過率を高めることで感度向上を実現しました。さらに画素構造の

改良によりノイズを低減。測距輝度範囲をEV-3*に拡大し、暗所でのAF撮影を可能にします。

* 中央1点、F2.8より明るいレンズでワンショットAF時。

EFレンズ40本まで登録可能

ピント精度をレンズごとに微調整

レンズごとにピント精度の微調整が可能なAFマイクロアジャストメント。全レンズの一律調整、またはレンズごとの個別調整データを40本まで登録できます。ズームレンズは広角端と望遠端で調整が可能です。

7つの測距パターンを搭載

測距エリア選択ボタンを新設

あらゆる撮影シーンに対応するために、7つの測距エリア選択モードを搭載しました。背面液晶の右横には、測距エリア選択ボタンを新設。操作ボタンカスタマイズで割り当てることで、測距エリアのダイレクト切り換えが可能。撮影の機動性を高めます。

顔・色を見分け、予測できない

被写体の動きを自動追尾

EOS iTR AF

動きが速い被写体、予測できない動きをする被写体も、一度捕捉したら粘り強く追尾し続けるEOS iTR AF*。ファインダー撮影時においても被写体の顔・色を検知し、測距点を乗り移らせながら追尾します。約15万画素RGB+IR測光センサーと、色追尾のアルゴリズムを改良することにより、速度や方向の急変にも的確に対応します。

* iTR=intelligent Tracking and Recognition

[EOS iTR AFの動作特性の設定]

EOS iTR AFでは、測距点の動作条件を選択することができます。「する(顔優先)」では、人物の顔情報を優先しつつ、測距情報と被写体の色情報などをもとに測距点を選択し、被写体を追尾。「する」を選ぶと、最初につかんだ測距点の色情報を優先的に活用して被写体を追尾。顔が検知できないときや、被写体が

人物でない場合でも、EOS iTR AFを効果的に活用することができる動作特性です。また、「しない」を選ぶと、測距情報だけで測距点の選択と被写体追尾を行います。

高い予測精度で

動体にピントを合わせ続ける

AIサーボAF III

障害物などによる測距誤差を検知し、予測AF制御への影響を抑える、先進のAIサーボAF IIIを採用。「被写体追従特性」「速度変化に対する追従性」「測距点乗り移り特性」を調整でき、被写体の動きや状況に幅広く対応します。また、撮影シーンを選択するだけで予測AF制御特性を最適化できる、AFカスタム設定ガイド機能も搭載。被写体に合わせて細かくパラメーターを調整することができます。

[被写体追従特性]

被写体の動きに対する反応を[粘る⇔俊敏]の間で5段階から設定することができます。

[速度変化に対する追従性]

被写体の急な動き出し、急停止などに対するAF動作。このパラメーターを(+)側に設定するほど、安定性よりも、速度変化が大きい被写体に対する追従性を向上させます。

[測距点乗り移り特性]

被写体が上下左右に移動したときのAF動作を設定。このパラメーターを(+)側に設定するほど、安定性よりも、上下左右に大きく動く被写体に対する追従性を向上させます。

被写体動作の特性に合わせて

よりの確かなAF制御を行う

AFカスタム設定ガイド

被写体の動きは、スポーツの競技種目や野生動物の種類によっても、まったく異なります。突然止まり、急発進することもあれば、上下左右など予測不能な動きをする被写体もあります。また手前に障害物が入ることもめずらしくありません。そんな被写体の動きの特性に

合わせて、適切なAF制御を行うAFカスタム設定ガイド機能。プリセットされている6ケースから動きの特性を選ぶだけで、AIサーボAFの性能をより活かすことができます。

全点(61点)や

クロス測距点のみなど

AFフレームの任意設定が可能

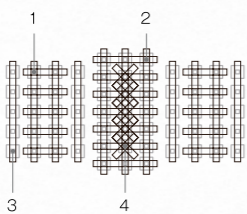
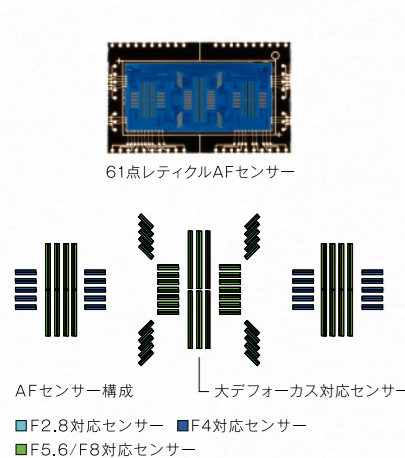
撮影スタイルに合わせて、任意選択できるAFフレーム数の変更が可能です。「全点(61点)／クロス測距点のみ／15点／9点」から選択できます。

暗いシーンの動体撮影で

威力を発揮する

AIサーボAF照明

暗所での撮影や黒い被写体の動体撮影などでAIサーボAF実行中、AFフレームが視認しやすいよう、AIサーボAF照明を搭載。選択したAFフレームを赤色で点滅表示します。点滅表示は[しない]にすることもできます。



AFセンサー概念図

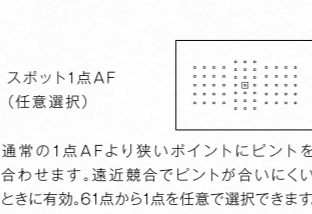
- クロス測距:F4横+F5.6/F8縦
- クロス測距:F5.6/F8縦+F5.6/F8横
- F5.6/F8縦測距
- デュアルクロス測距:F2.8右斜め+F2.8左斜め
F5.6/F8縦+F5.6/F8横



左右ブロックで約24%、中央ブロックで約8.6%上下に拡大(EOS 5D Mark III比)。



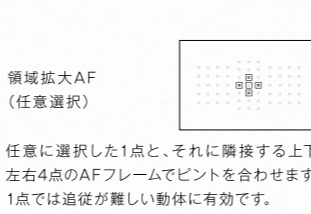
測距エリア選択ボタン



通常の1点AFより狭いポイントにピントを合わせます。遠近競合でピントが合いにくいときに有効。61点から1点を任意で選択できます。



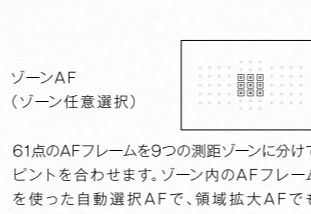
61点から任意で選択した1点のみでピントを合わせるときに有効です。



任意に選択した1点と、それに隣接する上下左右4点のAFフレームでピントを合わせます。1点では追従が難しい動体に有効です。



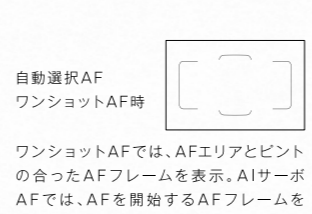
任意に選択した1点と周辺8点のAFフレームでピントを合わせます。任意選択よりも広い範囲で被写体を追従します。



61点のAFフレームを9つの測距ゾーンに分けてピントを合わせます。ゾーン内のAFフレームを使った自動選択AFで、領域拡大AFでも追従が難しい、動きの速い被写体に有効です。



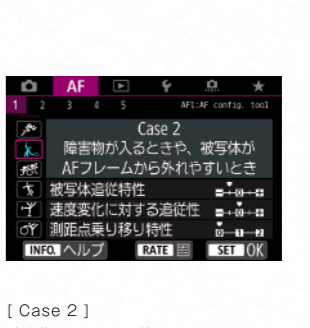
AFエリアを大きく3分割する、ラージゾーンAF。構図優先と被写体捕捉をバランスよく行えます。



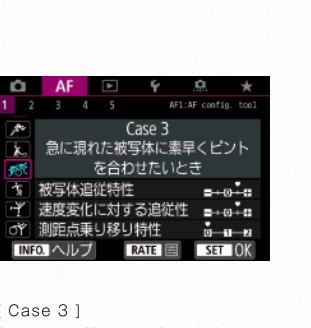
ワンショットAFでは、AFエリアとピントの合ったAFフレームを表示。AIサーボAFでは、AFを開始するAFフレームを表示できます。



[Case 1]
多くの撮影シーンと被写体に対応できる汎用性の高い設定。



[Case 2]
障害物が入るときや被写体がAFフレームから外れやすいときに効果的な設定。



[Case 3]
急に現れた被写体に素早くピントを合わせたいときに効果的な設定。

最高約7コマ／秒の連写を、30.4メガで実現。さらに光を瞬時に見極める、高精度な露出制御。

決定的瞬間をキャッチ

最高約7コマ／秒の

高速連続撮影を実現

CMOSセンサーの高速信号読み出しとDIGIC 6+の採用などにより、約3040万画素でも、最高約7コマ/秒*1の連続撮影を達成。連続的な動きの中にある、決定的瞬間を高画質に描き出します。高速連続撮影時の連続撮影可能枚数*2は、記録画質がJPEGラージ/ファインで約110枚(UDMA CF:カードフルまで)、RAWで約17枚(UDMA CF:約21枚)、RAW+JPEGラージ/ファインで約13枚(UDMA CF:約16枚)です。

*1 高速連続撮影時の連続撮影速度は、電源の種類、電池残量、温度、ISO感度、フリッカーレス撮影、シャッター速度、絞り数値、被写体条件、明るさ、レンズの種類、ストロボ使用、撮影機能の設定などの条件により低下することがあります。
*2 当社試験基準8GBメモリーカード使用。

[シャッター音をソフトな印象に抑制]

野生動物や昆虫撮影時など、シャッター音のできる限り抑えたい場面で役立つ、「ソフト1枚撮影」と「ソフト連続撮影(最高約3コマ/秒)」が可能です。

顔や色を理解し

AEとAFを精密に制御する

EOS iSA System

人間の視覚は、見たものの顔や色などを見分け、瞬時に明るさやピントを合わせることができます。この視覚の働きをカメラに応用し、安定した評価測光と、高度な被写体捕捉能力を実現するために生まれたのがEOS iSA System*。EOS 5D Mark IVは、このシステムによって、極めて高精度なシーン解析とAEを実現。測光・調光/被写体検出センサーには、約15万画素RGB+IR測光センサーを採用。測光だけでなく、被写体の動きにAFフレームが連動するEOS iTR AFや画づくりといった各システムとも連携。カメラの総合性能を大幅に向上させています。

* iSA=Intelligent Subject Analysis

[約15万画素RGB+IR測光センサー(近赤外光)]

EOS iSA Systemの「眼」として働くのが、約15万画素RGB+IRセンサーです。測光専用の

DIGIC 6の処理能力と約15万画素という高い分解能を連携させることで、被写体の顔と色、動きなどを検知。高度なシーン解析を実現します。

色情報とAF情報を基に

画面を252分割して測光する

高度な評価測光を実現

約15万画素RGB+IR測光センサーは、測光時に252分割測光センサーとして働きます。EOS iSA Systemがもたらす顔や色情報に加え、AF情報も加味し、総合的に標準露出を算出。「距離情報から被写体領域を検出する」「人物の顔を適正な明るさに近づける」「色がセンサー出力に与える影響を抑える」など、高度な評価測光アルゴリズムを搭載。AEの精度と安定性を高めました。

[4種の測光モードと測光範囲]

測光モードは、すべてのAFフレームに対応する[評価測光]、画面内の中央部約6.1%

の範囲を測光する[部分測光]、約1.3%の範囲を測光する[スポット測光]、[中央部重点平均測光]の4種を搭載しています。

明滅する人工光源下でも

安定した露出を可能にする

フリッカーレス撮影

蛍光灯や水銀灯、LED光源、タングステン光などの人工光源下では、明滅周期の影響でちらつき現象(フリッカー)が起こります。この状況下で高速シャッターを切ると、露出ムラや色ムラが生じることがあります。こうした写りのばらつきを抑えるフリッカーレス撮影。明滅の周期を検出して光量ピーク付近でのみ露光を実行します。連続で撮った連続コマ間での露出を安定させることが可能です。体育館のような屋内施設、屋外競技場(ナイター)などでのスポーツ撮影に威力を発揮します。

* 100Hzと120Hzのフリッカーにおいて有効です。
* フリッカー光源下で撮影時、レリーズタイムラグがわずかに長くなる場合があります。また、連続撮影速度が低下したり、撮影間隔にばらつきが生じる可能性があります。
* ミラーアップ撮影時、ライブビュー撮影時、動画撮影時には機能しません。
* 光源や撮影条件によっては効果が得られない場合があります。

高画素にふさわしい進化を遂げた、耐久性と信頼性。

さらなる高剛性・高放熱性を実現する

マグネシウム合金製の外装カバー

上・前・後カバーに加え、新たにボトムカバーをマグネシウム合金製にすることで、高剛性、高放熱性を実現。本体は、アルミ製シャーシと一体成型した高強度エンジニアリングプラスチックを採用。機能や信頼性を高めながらも、EOS 5D Mark IIIから約60gの軽量化を達成。ミラーボックスも高強度エンジニアリングプラスチック製で、本体同様に高いポディー剛性を実現しています。外装カバーは、新しい高耐久性塗装を施すことで、耐摩耗性を向上。長期間の使用に耐えうるポディーに仕上がっています。

悪条件により強く

防塵・防滴構造

さらに防塵・防滴性能を高めるため、外装カバーの合わせ部、電池室ふた、カードスロットカバー開閉部、シャッターボタンなどにシーリング部材を組み込んでいます。また、ダイヤル回転

軸などシーリング部材を組み込んでいない場所には、部品間の隙間を極力小さくするよう部品を高精度化。これにより不用意に降りかかる砂塵や水滴などのカメラ内部への侵入を抑えています。

* 扉部、端子カバーなどの開閉部は防塵・防滴性能を発揮させるためにしっかり閉じてください。
* カメラは防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐものではありません。

約3040万画素の

解像性能を引き出す

新ミラー振動制御システム

高画素機の解像力を妨げるカメラブレは、ミラーショックも一つの原因です。カメラの構造上、避けて通れないこの動作を高度に制御。ミラーのアップ/ダウンともに、モーターとカムギアによって駆動と速度制御を行う、独自のミラー振動制御システムです。EOS 5D Mark IVでは、約7コマ/秒というミラー駆動でも、振動を制御できる新規の駆動系を開発。コマ速アップとミラーショックの低減を両立しました。

CF/SDに同時記録も可能

デュアルカードスロット

CFカード(Type I*、UDMA Mode 7対応)とSDカード(SD/SDHC/SDXC、UHS-I対応)を同時に使用できる、デュアルカードスロットを装備。UDMA、UHS-I対応カード使用時、高速書き込みが可能です。

* Type II CFカードとマイクロドライブは使用できません。

[撮影時の記録方法は4種類]

選択したカードのみで記録・再生する「標準」。一方のカードがいっぱいになると、もう一方のカードで記録を継続する「カード自動切り換え」。カードごとに記録画質を設定でき、RAW+JPEG時などに便利な「振り分け」。それぞれのカードに同じ画像を記録、バックアップできる「同一画像書き込み」の4種から選べます。

[カード間コピー]

CFカードとSDメモリーカード間で画像(画像選択/フォルダ選択/全画像)のコピーが可能。

撮影した画像のバックアップや、必要な画像だけをまとめて管理したいときに便利です。

15万回の作動テストをクリア

高耐久シャッターユニット

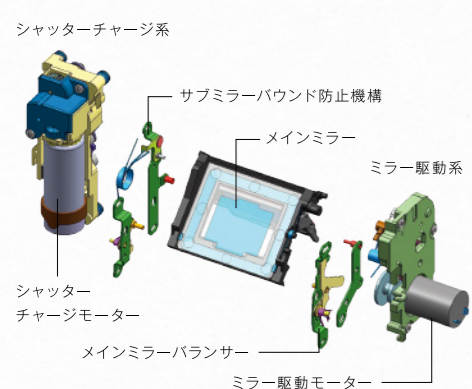
シャッターユニットは、ロータリーマグネット式の縦走りフォーカルプレーンシャッターを採用。標準的な撮影を想定した自社試験において、15万回の作動テストをクリアしています。

総合的なセンサーダスト対策

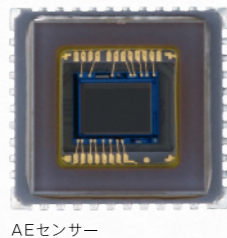
EOS Integrated Cleaning System

画像に写り込んでしまうホコリなどのダストを、総合的な対策で防ぐEOS独自のシステムです。シャッターユニットやポディーキャップは、ダストの発生を抑制する部材に。ローパスフィルターに付着したダストは超音波振動でふり落として除去します。それでもダストが残った場合、その位置情報を取得し、撮影データに付加。付属ソフトウェア「Digital Photo Professional」で一括消去できます。

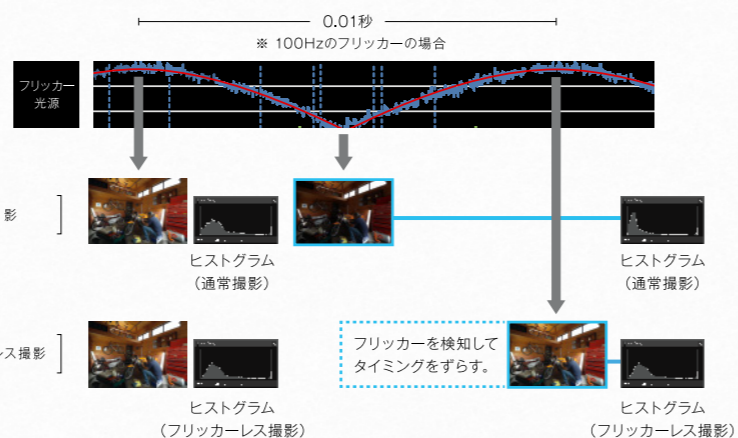
[ドライブ機構]



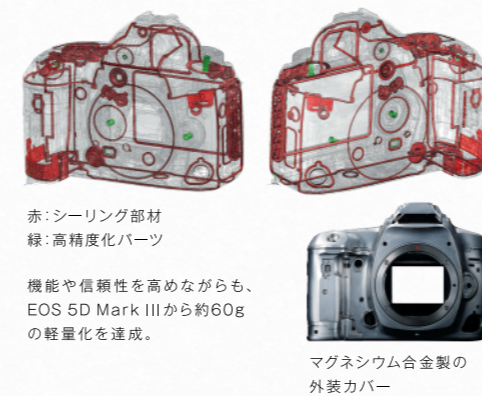
ソフト連続撮影では、ミラー駆動とシャッター駆動を通常よりも低速で行うことにより、ミラーの作動音やメカ駆動音をソフトな印象に。



測光モードは、全AFフレームに対応する[評価測光]、画面内の中央部約6.1%の範囲を測光する[部分測光]、約1.3%の範囲を測光する[スポット測光]、[中央部重点平均測光]の4種。



[防塵・防滴構造]

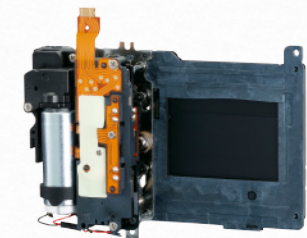


機能や信頼性を高めながらも、EOS 5D Mark IIIから約60gの軽量化を達成。

[新ミラー振動制御システム]



① 高トルクモーターの採用により、駆動速度を高速度化(加速が大きい)+強力に減速
② ミラーのバウンドを新設計のレバー部材で強く押さえ込み、ミラー衝突~バウンド停止の時間を短縮
※ ミラー駆動速度向上により、ファインダー消失時間を短縮



当社基準15万回の作動テストをクリアした高耐久シャッターユニット。



“5D”の撮影スタイルに、もう一つの可能性。革新のライブビュー撮影。

ライブビュー撮影を新しく 指で画面に触れた直後に合焦する デュアルピクセル CMOS AF

ライブビュー撮影のAF速度を、ファインダー撮影に迫る次元にまで高めたデュアルピクセル CMOS AF。キヤノンが開発した、撮像面位相差AF技術を、ついにEOS 5D Mark IVに搭載しました。フルサイズの画面内約80%（縦）×約80%（横）の広い領域において、すべてのEFレンズ*で高速かつスムーズなAFが可能。液晶モニターのタッチしたところに瞬時にピントが合い、レリーズさせることもできます。またライブビュー撮影時、EV-4という暗い環境でも高精度なフォーカスを実現しました。AF方式は、EOSのフルサイズとしては初となる「ライブ多点AF」を含む3種を搭載。幅広い被写体に対応できます。

* マニュアルフォーカスレンズ、EFシネマレンズを除きます。

[デュアルピクセル CMOS AFとは]
CMOSセンサーの1画素を2つのフォトダイオードで構成。1画素から2つの画像信号を

検出し、位相差AFを行うことにより、フォーカスの移動方向と移動量を算出します。合焦位置を探す不自然なフォーカスの移動がなく、スムーズで高速なAFが可能です。

動体にピントを合わせながら 連続撮影ができる サーボAFに対応

AF動作には、ワンショットAFのほか、サーボAFにも対応。液晶モニター上で動く被写体にピントを合わせながら連続撮影が可能です。デュアルピクセル CMOS AFの高速AFにより、素早く動く被写体にも的確にピントが合います。サーボAF時のシャッター制御は、ミラーアップしたままメカ先幕で露光します。

被写体やシーンで選べる 3つのAF動作

[顔+追尾優先AF]
人の顔を検知してAFする方式。顔が動いても横顔になっても追尾しピントを合わせ続けます。

[ライブ1点AF]
画面上の任意のエリアを選んでピントを合わせます。

[ライブ多点AF]
最大63点のAFフレームを使う「自動選択」と63点を9つのゾーンに分けてピントを合わせる「ゾーン選択」から選べます。

AFやレリーズ 再生画像の拡大など 画面のタッチ操作で快適に

スマートフォンのように画面を指先で触れるだけで、さまざまな操作が行える静電容量方式のタッチパネル機能。タッチ操作でできることは多彩。たとえば画面の被写体をタッチするだけで、ピントを合わせたい位置の選択が可能。ピントが合うと、自動的にシャッターを切る設定にもできます。撮影のさまざまな設定はもちろん、ISO感度やシャッター速度などの設定も直感的な操作で行えます。また画像の再生も快適。指を

スライドさせて、ページをめくるように再生画像を切り換えたり、2本の指の開閉で拡大・縮小したりすることも。タッチ操作の感度は「標準/敏感/しない」の設定が可能です。

ライブビュー撮影でも 最高約7コマ/秒の連続撮影が可能

ファインダー撮影同様、約7コマ/秒の高速連続撮影を実現。低速連続撮影（被写体追従優先）の場合は、約3コマ/秒となります。サーボAF時は、約4.3コマ/秒（連続撮影速度優先）の連続撮影が可能です。サーボAF時のシャッター制御は、ミラーアップしたままメカ先幕で露光します。さらにライブビュー撮影でもLVソフト撮影ができるため、ファインダー撮影時より作動音を抑えたいシーンで役立ちます。

ファインダー撮影と同様の 4つの測光モードを採用

315分割で測光する「評価測光」に加えて、ライブビュー画面の約6.3%の範囲を測光

する「部分測光」、約2.7%の範囲を測光する「スポット測光」、「中央部重点平均測光」の4種を搭載しています。

画像をより鮮明に表示 高精細約162万ドット ワイド3.2型・クリアビュー液晶II

EOS 5D Mark IVは液晶モニターの美しさと操作性を一新しました。約162万ドットの高精細な液晶パネルを採用し、画像をより鮮明に表示。また拡大表示でのピントチェックを容易にしています。また強化ガラス製の保護カバー（汚れ・反射防止コート）と液晶パネルの間に光学弾性体を充填することにより、外光反射と内部反射を抑制。さらに、静電容量方式のタッチパネルを装備。タッチ操作によるライブビュー撮影/動画撮影をより快適に行うことができます。

液晶モニターの色調調整が 4色から選択可能

液晶モニターの色調調整が可能になりました。「暖色/標準/寒色1/寒色2」の4色から選べます。

拡大倍率は15段階から選択 拡大開始倍率/拡大 開始位置の設定が可能

拡大表示を開始したときの拡大倍率と、拡大開始位置を任意に設定可能。「1倍（拡大なし）」「2倍（中央から）」「4倍（中央から）」「8倍（中央から）」「10倍（中央から）」「等倍（任意選択合焦点から）」「前回と同じ倍率（中央から）」の7種類。測距点位置で等倍確認を行いたいときなど、スムーズに操作が行えます。また拡大倍率は15段階、約1.5倍から約10倍に拡大表示可能です。

自分だけの設定画面に クイック設定画面の カスタマイズ

カメラの設定状態が一覧できる、EOS独自の

クイック設定画面。EOS 5D Mark IVでは、項目のレイアウトやサイズ、表示項目をカスタマイズできるようになりました。たとえば撮影モードとシャッター速度、ISO感度、AFフレームのみ表示し配置するといった大胆な使い方も。撮影者一人ひとりに最適なクイック設定画面をつくることができます。

構図決めに便利な グリッド表示 [9分割+対角]も可能

液晶画面上に、さまざまなグリッド表示が可能。[9分割/24分割/9分割+対角]の3種から選べます。[9分割+対角]は、構図決めに便利です。

水平方向と あおり方向に対応する 電子水準器を搭載

ライブビュー映像で構図を確認しながら、カメラ

の水平方向とあおり方向の傾きが確認できる電子水準器を搭載しています。

より精密な ピント合わせを可能にする マニュアルフォーカス

マクロ撮影など、よりシビアなピント合わせが求められるときに有効なのがマニュアルフォーカス。マルチコントローラーを操作して、フォーカスフレームをピントを合わせたい位置に移動。その際、ライブビュー映像は5倍、10倍に拡大して表示できるので、容易に精密なピント合わせが行えます。

撮る前に仕上がりを確認

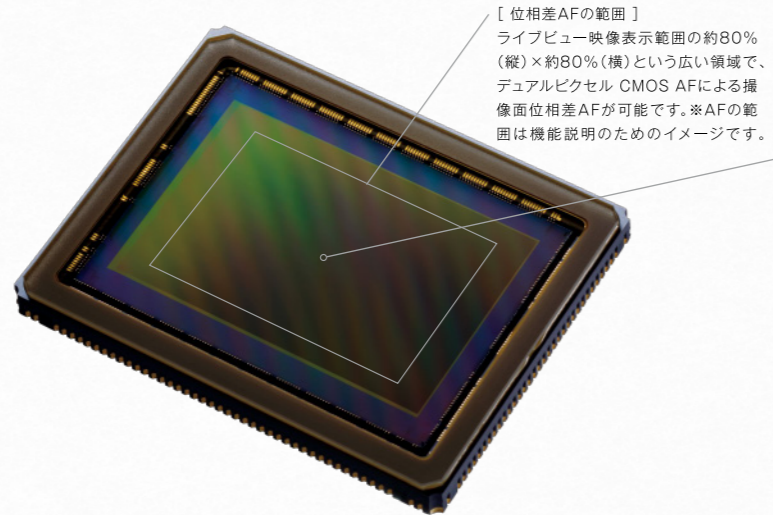
ファイナルイメージシミュレーション

ライブビュー映像の状態、露出や被写界深度、ピクチャースタイル、ホワイトバランス、オートライティングオプティマイザ、歪曲収差補正、色収差補正などの効果が確認可能。色収差補正は、拡大表示時にも反映されます。

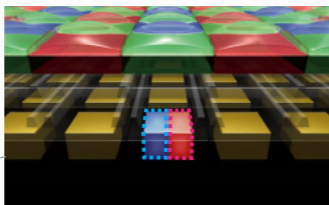


タッチAFイメージ

指先で画面をタッチするだけで、AFの移動、合焦、レリーズまで可能。



[位相差AFの範囲]
ライブビュー映像表示範囲の約80%（縦）×約80%（横）という広い領域で、デュアルピクセル CMOS AFによる撮像面位相差AFが可能です。*AFの範囲は機能説明のためのイメージです。



デュアルピクセル CMOS AF概念図

一つの画素を独立した二つのフォトダイオードで構成。それぞれのフォトダイオードは独立して光を取り込むことが可能です。

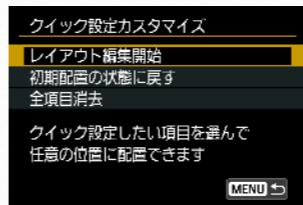


画面操作イメージ

EOS 5Dシリーズ初となるタッチパネル機能。さまざまな撮影関連だけでなく、設定



や再生などの操作が、スマートフォンのようなタッチ操作で行えます。



カスタマイズイメージ

よく使う項目を、使いやすい位置とサイズにカスタマイズ可能。



暖色



寒色1



寒色2

表現意欲を駆り立てる、多彩な作画機能。写真表現に、さらなる深みを。

明暗差の大きなシーンも

3枚の画像を合成し

広階調な一枚に

白トビや黒つぶれを抑えるハイダイナミックレンジ(HDR)撮影。[露出アンダー／標準／オーバー]の3画像を連続で撮影。標準露出に近い部分を合成し、階調が豊かな1枚の画像を生成します。露出の振り幅は[自動]のほか、[±1/±2/±3]から選択可能。仕上がりの効果は5種。極端な明暗差も自然な印象に仕上げる「ナチュラル」、写真をアートの的に描く「絵画調標準」、夜景など明暗差が大きいときにおすすめの「グラフィック調」、昼の風景など色彩が多いシーンで選びたい「油彩調」、低コントラストのシーンを印象的に仕上げる「ビンテージ調」から選べます。

[画像位置自動調整]

カメラブレや手ブレなどによる、微かな画像のズレをカメラが検知し、自動的に補正。高精度なHDR画像を得ることができます。

刻々と移り変わる光景を

定点撮影する

インターバルタイマー

花の開花や昆虫の羽化、日の出／日の入りなど、時間をかけて刻々と変化する被写体の様子を定点撮影できるインターバルタイマー。設定可能な撮影間隔(1秒～99時間59分59秒)と撮影回数(無制限または1回～99回)が幅広いため、被写体ごとに異なる変化の速度や時間に、柔軟に対応できます。撮った画像をつなげればタイムラプス動画のようなムービーづくりも楽しめます。

* インターバルタイマー機能を使用する際のライブビュー撮影、動画撮影、バルブ撮影、ミラーアップ撮影はできません。

カメラ単体で

長時間露光撮影を行う

バルブタイマー機能

タイマー付きのリモートコントローラーを使わずに、カメラ単体で長時間露光撮影を実現するバルブタイマー機能を搭載。バルブ撮影時の露光時間を1秒～99時間59分59秒で設定

できます。星や車のライトの軌跡、花火などの撮影に有効です。

カメラ単体で

作品の完成度を高める

トリミング機能

JPEGで撮影した画像をカメラ内でトリミング可能。構図の完成度を、より高め作品に仕上げることができます。トリミング枠のアスペクト比は[3:2] [16:9] [4:3] [1:1]から選択。それぞれトリミング枠の移動と縦横の切り換えが可能。トリミング範囲のサイズは45段階(対角比約11～95%の範囲)から設定できます。

* S3(JPEG)画像とRAW画像はトリミングできません。
* 4K動画からフレーム切り出した画像はトリミングできません。

レンズ光学補正も可能な

カメラ内RAW現像

RAWで撮影した画像データをJPEGに変換して保存できる、カメラ内RAW現像*。変換時には、細かい画像調整が可能です。[明るさ

補正] [ホワイトバランス] [ピクチャースタイル] [高感度撮影時のノイズ低減] [JPEG記録画質] などに加え、周辺光量補正や歪曲収差補正といった[レンズ光学補正]も。ピクチャースタイルは、新たに搭載した[ディテール重視]も選ぶことができ、シャープネスの細かさやしきい値もチューニング可能です。もちろん、デジタルレンズオプティマイザや回折補正も行えます。

* M-RAW、S-RAWは現像できません。

撮影したJPEG画像を

小さくできる

カメラ内リサイズ

サイズの大きな記録画質で撮影したJPEG画像をカメラ内で縮小リサイズできます。Wi-Fi機能を使ってスマートフォンに画像を転送する際など、データ量を軽くしたいときに便利です。リサイズした画像は、新規画像として保存されます。

* S3(JPEG)画像とRAW画像はリサイズできません。
* アスペクト比の変更はできません。
* 4K動画からフレーム切り出した画像はリサイズできません。

複数の画像を重ね合わせて

独特の作品をつくり出せる

多重露出撮影

2～9枚の画像(任意設定)を重ね合わせ、一枚の作品にする多重露出撮影。撮影モードは[機能・操作優先モード] [連続撮影優先モード]の2種を搭載。撮影済みの画像からでも重ね合わせを開始できるため*、同じ素材に異なる画像を重ねたい場合や10枚以上の多重露出にも対応できます。

* 選択できる画像はEOS 5D Mark IVで撮影したアスペクト比3:2のRAWに限ります(S-RAW/M-RAWとJPEGは選択できません)。

[機能・操作優先モード]

撮影途中にAFモード、ドライブモードなどの撮影機能の切り換えが可能。また多重画像に加え、撮影した全画像を保存することができます。シャッターを切るごとに、または再生操作によっても重ね合わせの結果を液晶モニターで確認可能。撮影中にファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えることもできます。ライブビュー撮影では、液晶モニターで重なり具合を

確認しながら、次の1枚を撮影できます。意図しない結果になった場合、画像合成を1枚前の状態に戻して撮影し直すことも可能です。

[連続撮影優先モード*1]

速い動きを高速連続撮影し、その軌跡を1枚の画像で表現できます。スポーツや疾走する動物などの連続的な動きの撮影に有効です。撮影途中のライブビュー映像*2を表示でき、軌跡の写り具合を直感的にイメージすることが可能です。

*1 「連続撮影優先」モードでは、撮影途中の「メニュー画面の表示」「ライブビュー表示」「撮影直後の画像確認」「画像再生」「撮影のやり直し」「全画像の保存」はできません。
*2 撮影した画像をほぼリアルタイムで表示します。多重合成した結果ではありません。

[4つの多重露出方式]

撮影シーンや表現意図に合わせて、4つの露出方式から選択できます。

○ 加算

フィルムカメラと同様に、設定した露光量を

そのまま加算。画像ごとに露出を変えると、その明るさの変化を多重画像に反映できます。

○ 加算平均

多重露出の回数に応じて自動でマイナス補正。最終的に標準露出になるよう自動調整するため、AEでも手軽に多重露出が可能です。

○ 比較(明)

画像の明るい部分を重視して重ね合わせるデジタルならではの露出制御方式。背景と被写体の明暗差を利用し、切り抜き合成のような効果を得ることも可能です。明るい画像を優先するため露出オーバーの心配もありません。

○ 比較(暗)

ベースの画像と重ね合わせる画像を比較して、暗い部分を優先して合成。黒い被写体やシルエットに明るい画像が重ならず、引き締まったシャドウが得られます。

作画機能へダイレクトにアクセス

[クリエイティブフォト] ボタン

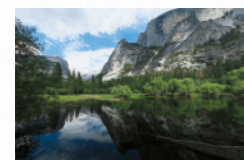
多重露出撮影をはじめ、ハイダイナミックレンジ(HDR)撮影、ピクチャースタイルに、ダイレクトにアクセスできるボタンを設置。再生時は、2画面比較再生機能を表示するボタンとして機能します。

写真の比率を4種から選べる

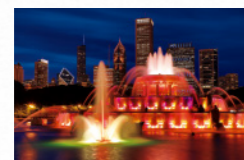
マルチアスペクト機能

ライブビュー撮影時、画像の縦横比が選べるマルチアスペクト機能を搭載。ファインダー撮影と同じ[3:2]のほか、コンパクトデジタルカメラに多い[4:3]、ハイビジョン比率の[16:9]、正方形比率の[1:1]の4種から、画像の比率を選択して、撮影できます。記録画質がRAWの場合は[3:2]で画像を生成して、設定したアスペクト比情報を画像に付加。「Digital Photo Professional」でJPEGに現像する際に、設定したアスペクト比で現像することができます。

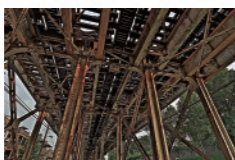
[ハイダイナミックレンジ(HDR)撮影]



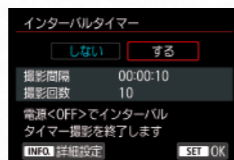
ナチュラル



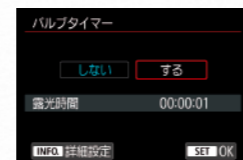
グラフィック調



ビンテージ調



インターバルタイマー撮影



バルブタイマー撮影

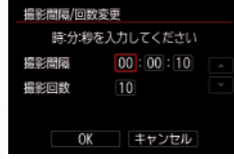


絵画調標準

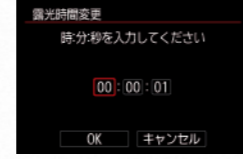


油彩調

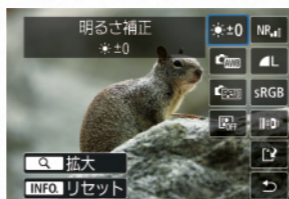
輝度差が激しい場面で、白トビと黒つぶれを抑えるハイダイナミックレンジ撮影。ナチュラルのほか、アート感覚に仕上げられるモードも搭載。



インターバルタイマー撮影



バルブタイマー撮影



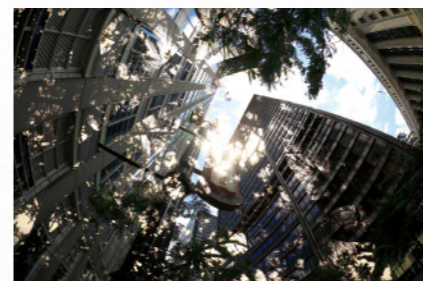
カメラ内 RAW 現像

カメラ単体で、多彩な画像編集が可能。パソコンを介さずに、作品づくりが行えます。

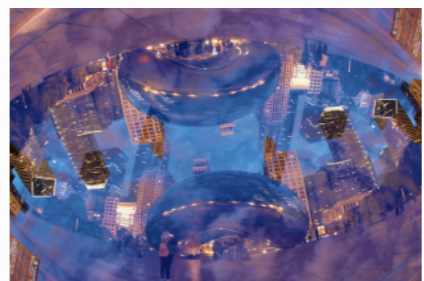


カメラ内 トリミング

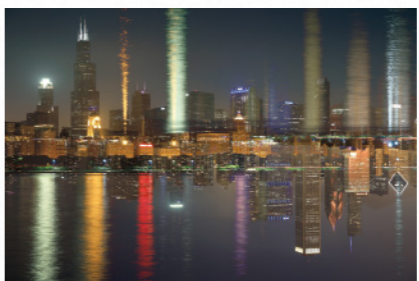
[多重露出撮影]



加算



加算平均

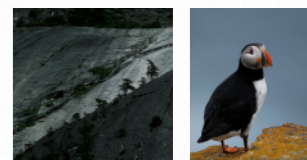


比較(明)



比較(暗)

[マルチアスペクト機能]



1:1

4:3



3:2

16:9



覗いて撮るといふ撮影の基本姿勢。その快適性をさらに追求。

**フルサイズの視界をありのままに
視野率約100%の
新光学ファインダー**

撮影の基本姿勢ともいえる、ファインダー撮影。被写体をリアルタイムで捉え、撮影者の意思に瞬時に反応できるのは、光学ファインダーならではといえます。この撮影スタイルを支えているのが、ファインダーの“見え”。EOS 5D Mark IVは視野率約100%の光学ファインダーを搭載。新材料を使用することで、倍率色収差を低減し、さらに良好な“見え”を実現。フルサイズの視界を鮮明に映し出します。また、新たに透過型液晶を採用することで、ファインダー上にさまざまな情報表示が可能。多彩な情報表示が特徴のEVF(電子ビューファインダー)のメリットも兼ね備えています。

**ファインダー視野上に
多彩な情報表示
インテリジェントビューファインダーII**

光学ファインダーに透過型液晶を採用。ファ

インダー視野上に、AFフレームをはじめ水準器やグリッドを表示。また構図を妨げない画面下部に、撮影モードや記録画質、AF動作などの主な設定情報を集約して表示。表示の有無の設定も可能です。ファインダーから目を離さなくても、設定変更とその確認ができるため、常にシャッターチャンスに備えることができます。

**撮影スタイルに適した
操作性を実現**

カメラに配置されたボタン、ダイヤルに割り当てられた機能を、フレキシブルにカスタマイズ可能。「操作ボタンカスタマイズ」画面から設定と変更が行えます。撮影スタイルに合った割り当てで、操作性を向上させることができます。

**必要な撮影情報に
素早くアクセス**

「撮影情報表示」画面を表示中、マルチコントローラーの操作で、ホワイトバランス情報、ピクチャー

スタイル情報、レンズ光学補正情報、GPS情報、IPTC情報の付加状態を表示可能。これらはスクロールすることなく、確認したい情報に素早くアクセスできます。

[IPTC情報の付加]

静止画像のみ、IPTC*(国際新聞電気通信評議会)情報を「EOS Utility」からカメラに登録することができます。なおIPTC情報とExif情報はそれぞれ独立して付与されます。
* International Press Telecommunications Council
* カメラで再生時、IPTC情報の内容は確認できません。

縦スクロールなど

**多彩で見やすい表示形式を採用
2画面比較も可能**

[INFO.]ボタンで切り換えられる表示形式を3つに集約。表示形式を切り換える手間を軽減し、かつ情報の伝達量も増やしました。また [撮影情報表示] では、縦スクロールを新たに採用、詳細な情報を表示することができます。詳細項目を充実させつつ画像は大きく表示、

画像と情報を快適に確認できます。さらに再生中は、2画面比較表示が可能。それぞれの画像は拡大・縮小できるので、撮影現場でのピントやノイズチェックに便利です。また同じ被写体を違う設定で撮影した場合、その場で比較できて便利です。

よりセキュアなFTPSで

FTPサーバーへの画像転送が可能

FTPサーバーへの転送方法は「撮影時自動転送」「画像選択／転送」「SETボタンで転送」「キャプション付きで転送」の4種。また「FTP」モードよりも高いセキュリティーを確保する「FTPS*」モードも搭載。データを暗号化して送受信する仕組みのひとつSSL/TLSでFTP転送が可能です。また、FTPSの運用に必要な「ルート証明書」にも対応。パソコンで取得した「ルート証明書」を、メモリーカードを介してカメラに設定。強度の高い暗号で画像の流出や不正使用を抑えることが可能です。

* File Transfer Protocol over SSL/TLS

撮影スタイルの可能性を拡大する多彩な通信機能。

**GPSユニットを内蔵
カメラ単体で
位置情報を付加**

緯度、経度、標高、協定世界時といった位置情報を取得し、Exif情報に付加できるGPS機能を搭載。アメリカのGPS衛星、ロシアのGLONASS衛星、日本の準天頂衛星みちびきのGPS信号に対応。3種類の衛星に対応することで、位置消失の低減と優れた測位精度を実現しました。測位モード「モード1」はカメラの電源オフ時でも、一定間隔でGPS信号を受信。衛星捕捉状態を維持することにより、電源を入れてすぐに撮影を行っても位置情報を記録できます*1。「モード2」設定時はカメラの電源と合わせてGPS機能もオン/オフになります*2。電池の消費を抑えたいときに有効です。

*1 使用する環境によっては衛星捕捉状態を維持できないことがあります。
*2 オートパワーオフ中は一定間隔でGPS信号を受信し続けます。
* GPSレシーバー GP-E2は使用できません。また、市販のBluetooth対応GPSは接続できません。

[移動の軌跡を地図上で確認]

一定間隔でカメラ位置情報を取得し、記録

できるロガー機能を搭載。ログを迎えることで移動の軌跡を確認することが可能。「ログ記録」を[する]に設定すると、測位モードにかかわらずオートパワーオフ時/電源オフ時も測位を継続。設定した更新間隔(1秒~5分まで8段階)で位置情報を取得し、内蔵メモリーに記録します。蓄積したログデータは、パソコンの地図上にマッピングし、撮影場所や移動ルートの表示と確認に利用できます。

[撮影時刻を常に正確に記録]

GPS信号に含まれる時刻データをカメラに自動設定できる自動時刻設定機能*を搭載。常に正確な時刻を画像に記録することができます。協定世界時に対する誤差は、わずかに約±1秒と高精度を実現しています。

* 衛星を5つ以上捕捉している必要があります。

撮ったその場で画像をカメラに転送

Wi-Fi機能

EOS 5D Mark IVで撮った写真を、すぐに

スマートフォンに転送して写真仲間と共有。Wi-Fi機能は、撮ったあとの楽しみをさらに広げます。スマートフォンだけでなく、プリンター、テレビ、パソコンなどにワイヤレスで写真を送信可能です。

[スマートフォンでカメラをリモート操作]

EOS 5D Mark IVの遠隔操作をスマートフォンで。専用アプリ「Camera Connect*」をスマートフォンやタブレットPCにインストールし、アプリを起動。リモート撮影や再生画像の確認が行えます。撮った画像はそのまま端末に保存できるので、SNSなどでの共有もスムーズ。動画の「記録開始・停止」機能も搭載しています。また、パソコン専用の付属ソフトウェア「EOS Utility」でも、カメラをリモート制御することができます。

* App Store(iOS用)、Google Play(Android用)から無料でダウンロードできます。

スマートフォンに近づけるだけ

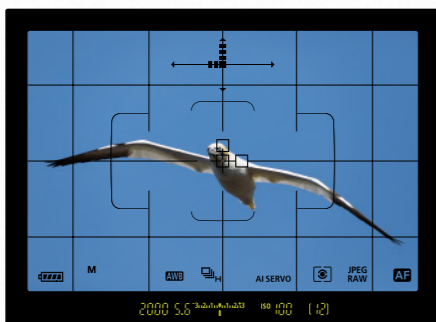
画像転送をスムーズにするNFCに対応

カードスロット付近にあるNFCマークと、対応するAndroid™ 端末を近づけるだけで、Wi-Fi接続が完了。専用アプリ「Camera Connect*」が自動で起動しスマートフォンとカメラがスムーズに接続できます。

* NFC機能を利用するには、スマートフォンやタブレット専用アプリ「Camera Connect」(無料)のインストールが必要です。インストールされていない状態でカメラにタッチすると、ダウンロード画面に遷移するので、そこからインストールが可能です。



視野率約100%の光学ファインダーは良好な“見え”を実現するペンタプリズムを使用。

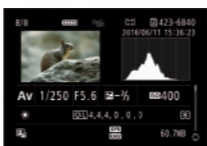


ファインダー撮影の機動性を高めるインテリジェントビューファインダーII。ファインダーを覗いたまま、設定状況の確認、変更が可能。

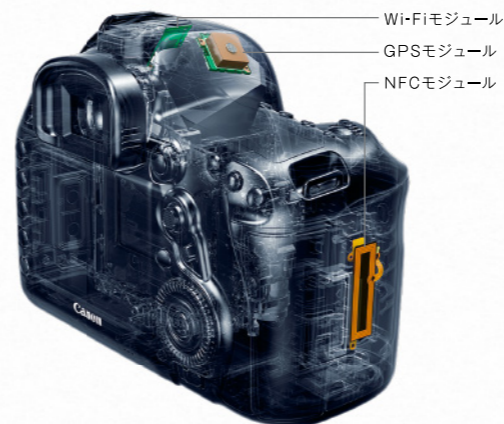
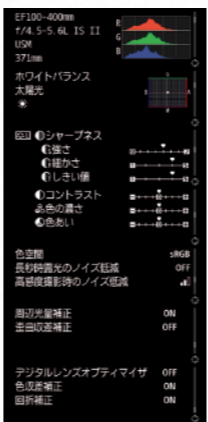


操作ボタンカスタマイズ

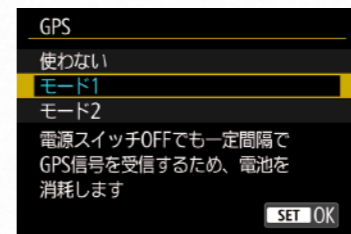
カメラに配置されている多彩なボタンに、使い勝手に合わせた機能を割り当てることが可能。



表示形式を工夫し、撮影情報の表示を見やすく、項目も充実。



Wi-Fiモジュール
GPSモジュール
NFCモジュール

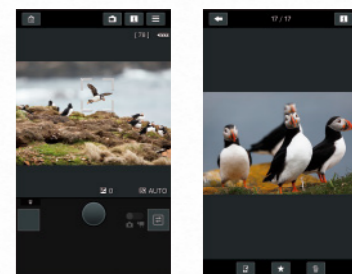


GPSの設定

GPSレシーバーなしで画像の位置情報を付加。



Camera Connect



スマートフォンアプリ
Camera Connect 操作イメージ

リモート操作でAFから撮影、再生画像の確認などが可能。画像をスマートフォンに保存することも。

4K時代の最前線へ。先進機能と高性能を凝縮したEOSムービー。

プロの映像制作をさらに強く

フルサイズ4K・EOSムービー

一眼レフならではの表現力と機動力で、プロの映像制作の現場でも活躍するEOSムービー。EOS 5D Mark IVでは、デジタルシネマ規格であるDCI 4K(4096×2160)・30Pの内部記録を実現しました。さらにフルHD・60Pの記録が可能。映像制作に適したMOVのほか、汎用性の高いMP4が選択できます。常用最高ISO25600の高感度撮影*ができるので、薄暗い中でもノーライトで美しい映像表現が可能です。大口径レンズ、超広角・超望遠、マクロやフィッシュアイなど多彩なEFレンズとの組み合わせで、さまざまな映像表現が楽しめます。

* 4K時は常用最高ISO12800となります。

[4Kフレーム切り出しが可能]

EOS 5D Mark IVで再生中、4K動画の1フレームを約880万画素(4096×2160)の静止画として切り出し、JPEGで保存可能。秒間で約30コマの静止画から、決定的な1枚が選べます。

高画質なスローモーション映像に

HD/119.9fps収録

HD(1280×720)記録時、NTSC:119.9fps/PAL:100.0fpsのハイフレームレート動画撮影*を実現。29.97fps/25.00fpsに対して1/4倍速、ALL-Iによる高画質で滑らかなスローモーション映像を記録できます。

* 1シーンの撮影時間は最長7分29秒です。タイムコードは、実時間1秒に対して4秒分カウントアップします(フリーラン設定時、タイムコードは記録されません)。また、音声は記録されません。

3つのAF方式を採用

タッチ操作でAFフレーム位置が変更可能

ライブビュー撮影同様、「顔+追従優先AF」「ライブ多点AF」「ライブ1点AF」の3種。「ライブ1点AF」は、デュアルピクセル CMOS AFのエリア内の任意の位置にAFフレームを設定可能。AFフレームの大きさもタッチパネル(静電容量方式)で変更できます。

動画サーボAFでピント合わせが快適

追従特性のカスタマイズも可能

デュアルピクセル CMOS AFが威力を発揮。「顔+追従優先AF」では、合焦した人物をカメラが自動的に追尾。また、「ライブ1点AF」では動画サーボAFの特性をカスタマイズできるので、表現意図に合わせた動画撮影が行えます。

白トビを抑え広ダイナミックレンジで記録

HDR(ハイダイナミックレンジ)動画

明暗差の大きい室内と屋外、夜景のライトアップなどで起こりやすい白トビ。HDR動画で記録すると、高輝度側の再現性が向上。フルHD撮影時に標準露出とアンダー露出の異なる露出の画像を交互に撮影し、合成して1フレームとして記録。白トビを抑え、ディテールまで再現します。

* 拡張ISO感度は設定できません。* Mモード時は、最高シャッター速度が1/1000秒になります。またTvモード時は最低ISO感度が400になります。* MOV / MP4、FHD、29.97fps (NTSC) / 25.00fps (PAL)、IPB(標準)で記録されます。

ゆっくりした被写体の変化を

短時間で表現できるタイムラプス動画

一定間隔で撮影した静止画をつなげ、フルHD

(ALL-I)の動画として記録・再生できるタイムラプス動画。天体や街並み、花の開花、昆虫の生態など、時間の移り変わりによって変化する被写体を、コマ送りや微速度撮影したかのような映像として記録できます。

* タイムラプス動画撮影中、AFは動作しません。また露出は1枚目固定となります。

1ファイル4GB制限から解放する

exFATフォーマット

SDXCカード(すべての容量)、または128GB超のCFカード収録時は、exFATでフォーマットに。従来の1ファイル4GB制限がなく、映像の取り込み時にファイルの結合が不要です。

* SD・SDHCカード、または128GBまでのCFカードはFATでフォーマットされます。4GBを超える新しいファイルを生成して記録を継続します。

ウィンドカット/

アッテネーター機能

屋外撮影時の風の音を低減したり、音割れを自動的に抑制する機能を搭載。録音調整レベルは[オート]のほか[マニュアル]調整も可能。64段階から任意に調整することができます。

表現力を広げる、撮影後の機動力を高める、カメラを守る、多彩なアクセサリ。

EOSムービーを高音質で収録

指向性ステレオマイクロホン DM-E1

アクセサリシューに装着して使える純正の外部マイク。EOS 5D Mark IVのEOSムービーを、より高音質で収録可能。録音領域はショットガン(モノラル)/90°(ステレオ)/120°(ステレオ)の3種類から切り換え可能。自然環境音やライブハウス、インタビューなど、撮影シーンに応じて適切に集音できます。ノイズを効果的に抑制するために、カメラの操作音やレンズの駆動音を低減するショックマウント機構を搭載。風切り音を低減するウィンドスクリーンも同梱しています。42,900円(ウィンドスクリーン付き、税込)

[カメラに外部ステレオマイク端子を装備]

EOS 5D Mark IVに、絞り駆動音の低減処理が可能なステレオマイク端子(ライン入力対応)を装備。DM-E1と連携して高音質に収録。ヘッドフォン端子からは音声をリアルタイムに出力・モニタリングしながら、録音レベル調整可能。

縦位置撮影を快適に

バッテリーグリップ BG-E20

EOS 5D Mark IV専用のバッテリーグリップ。マルチコントローラーや測距エリア選択ボタンなどを備え、縦位置撮影時も正位置に近い操作性を実現。マグネシウム合金製カバーやシーリング部品の採用により、EOS 5D Mark IVと同等の防塵・防滴性能*を達成。電源は、バッテリーパック LP-E6N/LP-E6をそれぞれ2個まで装填可能。36,300円(税込)

* 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

ガイドナンバー最大60 フラッグシップモデル スピードライト 600EX II-RT

最大約100回の連続発光回数を誇る大光量モデル。焦点距離(35mm判換算)20-200mmをカバーします。通信には、光の指向性がない電波通信によるワイヤレスストロボ撮影機能を搭載。また「シャッターチャンス優先」を初期設定にすることで、ストロボ非発光の頻度を減らし、

完全NGカットの発生を回避。優れた操作性、防塵・防滴性能*、通信の信頼性を実現しています。60,500円(ケース付き、税込)

* 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

WFTサーバーなど多彩な通信モードを搭載

ワイヤレスファイルトランスミッター

WFT-E7B(Ver.2)

無線/有線LAN対応した画像転送システム。小型・軽量ながらも、FTP転送/EOS Utility/ WFTサーバーなどの通信モードを搭載。パソコンやスマートフォンからEOS 5D Mark IVのリモート撮影を行えるほか、撮影した画像をインターネット経由で随時転送可能。ギガビットイーサネットとIEEE802.11b/g/a/nに対応しています。88,000円(ケース付き、税込)

雨中の撮影に心強い

レインカバー ERC-E5S/E5M/E5L

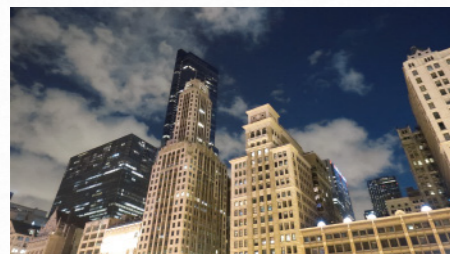
先端にLレンズを思わせるレッドラインが

施された、高級感のあるレインカバーが登場。透明窓から上面・背面表示パネルおよび液晶モニターをクリアに確認できます。面ファスナーの採用により、確実かつ容易な着脱を実現。サイズは使用レンズに応じて3種類(S/M/L)から選択できます。コンパクトに収納できるソフトケース付き。レインカバー ERC-E5S 12,100円(税込)
レインカバー ERC-E5M 12,100円(税込)
レインカバー ERC-E5L 12,100円(税込)

手軽にカメラを保護

プロテクティングクロス PC-E1

EOS 5D Mark IVに標準ズームレンズを装着したまま、風呂敷のように包める保護クロスが新登場。表地と裏地の間にスポンジ層があり、クッション性も良好。カメラを汚れや傷、水滴から守りながら、バッグにコンパクトに収納できます。レンズ交換時の敷物や膝掛けとしても使えます。50×50cm(ゴムひもを除く)。3,190円(税込)



ISO25600

* イメージ

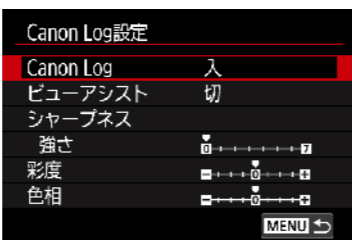
動画撮影時のISO感度は最高25600。ノーライトで、わずかな自然光を活かした表現も可能です。

Canon Log 対応へ、有償アップグレード

EOS 5D Mark IVの動画機能で、Canon Log記録が可能になる有償アップグレードを開始。Canon Logは、ポストプロダクション処理を前提とした自由な画づくりが行える記録方式で、ワイドダイナミックレンジが特長です。コントラストとシャープネスを抑えることで黒つぶれや白トビが少なく、暗部からハイライトまで幅広い映像情報を記録。8bit Logを採用しているため、データが軽く、撮影から編集作業も効率的に行えます。

<http://cweb.canon.jp/eos/lineup/5dmark4/info/canonlog/index.html>

* Canon Log使用時の注意事項に関しては、ホームページをご覧ください。



より快適な動画撮影のためにおすすめしたいこと

◎動画を撮影時のメモリーカードの書き込み/読み出し速度は、4K:CFカード UDMAモード7 100MB/秒以上、SDメモリーカード UHS-I 90MB/秒以上、フルHD・HD(ALL-I):CFカード UDMAモード7:60MB/秒以上、SDメモリーカード UHS-Iスピードクラス3以上、それ以外は30MB/秒以上、UHS-Iスピードクラス3以上の大容量カードをご使用ください。カードの書き込み速度が遅いと、カメラの内蔵メモリーを消費してしまうため、自動的に動画撮影が終了することがあります。その他圧縮形式のカード速度はカタログ裏面でご確認ください。◎最長記録時間は29分59秒(ハイフレーム動画は7分29秒)です。◎カメラでは分割ファイルの連続再生はできません。◎EFレンズの手ブレ補正機構が不要な場合は、機能をOFFにしてから撮影してください。音声記録が不要な場合は、[録音:しない]を選ぶことができます。



指向性ステレオ
マイクロホン
DM-E1(別売)

バッテリーグリップ BG-E20

スピードライト 600EX II-RT

レインカバー
ERC-E5L

プロテクティングクロス
PC-E1



EOS 5D Mark IVの描写力を鮮明に描き出すEFレンズ。

EOS 5D Mark IV キットレンズ

光学性能を進化させた。待望の標準“L”ズームレンズEF24-105mm F4L IS II USM

多くのEOSユーザーから支持を集める標準ズームレンズの後継がついに登場。光学性能を大きく向上させ、Lレンズにふさわしい高画質を実現。GMO非球面レンズ4枚(うち1枚は大口径両面非球面レンズ)の適切な配置により諸収差を抑制、解像度やコントラスト、周辺光量を改善。さらにASC(Air Sphere Coating)の採用により、フレアやゴーストの発生を低減。手ブレ補正効果はシャッター速度換算で約4.0段分*1にアップ。またUSMの低速駆動化により動画親和性が向上。動画撮影をサポートします。さらにメカ構造を見直すことで、従来からの優れた防塵・防滴性能*2に加え、高耐久性と鏡筒部の高耐振動衝撃性も実現します。レンズの前後にはフッ素コーティングも施しました。

オープン価格(ケース・フード付き)

*1 CIPAガイドライン準拠。焦点距離105mm、EOS-1D X使用時。
*2 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

ズーム全域で周辺画質が向上。大口径・超広角“L”EF16-35mm F2.8L III USM

大口径・超広角ズームレンズの“III型”が登場。ズーム全域で周辺画質の向上とワイド端の歪曲収差、倍率色収差の低減を達成しました。従来機種を大きく上回る光学性能を実現しています。大口径GMO両面非球面レンズ2枚、研削非球面レンズ1枚、UDレンズ2枚を採用するなど、高性能レンズを惜しみなく搭載しました。さらにコーティング技術ASCとSWCにより、フレアおよびゴーストを抑制。レンズの前後にはフッ素コーティングを塗布、表面に付着した油分や水分を乾いた布などで簡単に除去できます。優れた耐久性、防塵・防滴性能*で、悪条件での撮影にも対応します。

オープン価格(ケース・フード付き)

* 十分な防塵・防滴性能の発揮には、PROTECTフィルターの装着が必要となります。
* 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

大口径・標準ズームならではの描写力EF24-70mm F2.8L II USM

圧倒的な高画質と描写力を備えた大口径・標準ズームレンズの代表格。非球面レンズ3枚とスーパーUDレンズ1枚、UDレンズ2枚を使用、ズーム&画面全域での高画質を実現。操作性や防塵・防滴性能*、耐久性など、プロが求める要素も兼ね備え、幅広い撮影シーンに対応します。オープン価格(ケース・フード付き)

* 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

単焦点“L”ならではの高い表現力と強力な手ブレ補正EF85mm F1.4L IS USM

F1.4の明るさの大口径に加えて、シャッター速度換算約4.0段分*の手ブレ補正機構を採用した中望遠レンズです。光量の少ないシーンでも美しい

ボケ味と手ブレを抑えた撮影を実現しています。また、光学系に採用した非球面レンズにより画面のすみずみまでクリアでシャープな描写が可能。ポートレートやスナップ撮影を中心に幅広いシーンや被写体で活躍する高性能なレンズです。

オープン価格(ケース・フード付き)

* CIPAガイドライン準拠。EOS-1D X Mark II使用時。

手ブレ補正機構搭載。高解像広角ズームEF16-35mm F4L IS USM

16mmからでも画面の隅々までシャープに描写。ズーム全域で高解像感・高画質を実現。広角ズームレンズながらも、シャッター速度換算で約4.0段分*の手ブレ補正機構も搭載。また大口径両面非球面レンズ、UDレンズの採用により、歪曲収差や像面湾曲などを大幅に抑制します。オープン価格(ケース・フード付き)

* CIPAガイドライン準拠。焦点距離35mm、EOS-1D X使用時。

多くのプロが選ぶ大口径・望遠ズームの新型EF70-200mm F2.8L IS III USM

蛍石レンズ1枚、UDレンズ5枚など贅沢な光学系による描写力を継承し、先進のレンズコーティングASCを新たに採用。フレアやゴーストを大幅に抑制します。優れた防塵・防滴性能*と堅牢性も実現。オープン価格(ケース・フード付き)

* 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

画質と手ブレ補正効果を大幅に強化

EF100-400mm F4.5-5.6L IS II USM

蛍石レンズとスーパーUDレンズの併用により画質が向上。またASCコーティングにより、フレア・ゴーストを大幅に抑制します。高い防塵・防滴性能*と手ブレ補正機構を搭載。

さらに機動性を重視し、回転式ズームを採用。オープン価格(ケース・フード付き)

* 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

世界最広角*11mmスタートの超広角ズーム

EF11-24mm F4L USM

大口径研削非球面レンズなど4枚の非球面レンズの採用により、広角レンズで発生しやすい歪曲収差を抑制、超広角における新しい表現が可能。オープン価格(ケース付き、フード組み込み)

* 魚眼レンズを除く。レンズ交換式カメラ(一眼レフカメラ・ミラーレスカメラ)用交換レンズに採用されている非球面レンズとして、2015年2月6日時点。(キヤノン調べ)

2つの視点で手ブレを強力に補正

EF100mm F2.8L マクロ IS USM

高い描写力で、高精度な等倍撮影が可能。カメラの角度ブレとシフトブレを補正する、強力な手ブレ補正機構「ハイブリッドIS」を搭載。オープン価格(ケース・フード付き)

絞り開放から抜群の解像力を発揮

EF35mm F1.4L II USM

新開発BRレンズを採用した単焦点レンズ。色収差を大幅に抑制し、撮影画面の中心から周辺部まで優れた描写を実現。研削非球面レンズやUDレンズを配置し、各種収差を徹底的に除去。オープン価格(ケース・フード付き)



150 million RF/EF

交換レンズRF/EFレンズシリーズ*は2021年1月に累計生産本数1億5,000万本を達成しました。
* RFレンズ、EFレンズ、EF-Sレンズ、EF-Mレンズ、EFシネマレンズ、エクステンダーを含む。2021年2月3日時点。



EF85mm F1.4L IS USM



EF35mm F1.4L II USM



EF16-35mm F4L IS USM



EF24-70mm F2.8L II USM



EF24-105mm F4L IS II USM



EF100mm F2.8L マクロ IS USM



EF16-35mm F2.8L III USM



EF11-24mm F4L USM



EF100-400mm F4.5-5.6L IS II USM



EF70-200mm F2.8L IS III USM

*すべてオープン価格。オープン価格の商品は販売店にお問い合わせください。

EF24-105mm F4L IS II USM

オープン価格(ケース・フード付き)
 JANコード:4549292-063615
 商品コード:1380C001
 レンズ構成:12群17枚
 撮影距離範囲:0.45m~∞
 最大撮影倍率:0.24倍
 フィルター径:77mm
 最大径×長さ:φ83.5mm×118mm
 質量:約795g
 同梱アクセサリー:レンズフード EW-83M、
 レンズキャップ E-77 II、レンズポーチ LP1219



“5D”の高画質を支えてきた標準“L”ズームレンズに、待望の“II型”が登場。

広角から中望遠をカバー 全面リニューアルを果たした“24-105L”

EOS 5Dシリーズの高画質を、初代から支えてきたEF24-105mm F4L IS USM。広角から中望遠までカバーする利便性と機動力の高い標準ズームレンズです。多くのプロやハイアマチュアに愛用されてきたその一本が、光学性能を向上させII型として登場。EOS 5D Mark IVの高画素に応える描写力を実現しました。10枚羽根の円形絞りによる美しい背景ボケが楽しめます。また防塵・防滴性能^{*}を継承しながらもメカ構造を見直し、高耐久性と鏡筒部の高耐振動衝撃性を実現しています。

* 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を発揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

周辺光量と歪曲収差を改善し 光学性能を向上

[周辺光量比較]

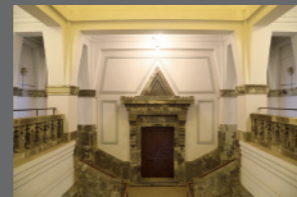


EF24-105mm F4L IS USM



EF24-105mm F4L IS II USM

[歪曲収差比較]



EF24-105mm F4L IS USM



EF24-105mm F4L IS II USM

[フレア・ゴースト比較]

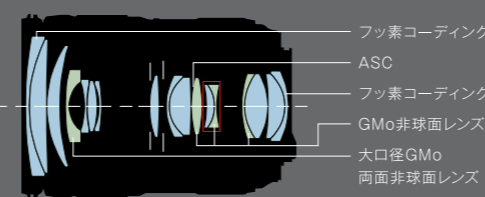


EF24-105mm F4L IS USM



EF24-105mm F4L IS II USM

[12群17枚で構成されたレンズ構成]



高画質を実現するために、GMo(ガラスモールド)非球面レンズを4枚(うち1枚は大口径両面非球面レンズ)を採用し、適切な配置により諸収差を抑制。従来機で要望の多かった周辺光量をはじめ、解像度やコントラストを改善させました。

フレアやゴースト低減を実現 独自コーティング技術ASCを採用

レンズ表面の蒸着膜上に、空気の球を含んだ膜を形成するコーティング技術ASC(Air Sphere Coating)を採用。垂直に近い角度で入射する光に対して高い反射防止効果を発揮し、フレアやゴーストの発生を抑制します。

水滴や油をはじきやすい

フッ素コーティングを塗布
 レンズの最前面と最後面に、フッ素コー

ティングを施し、水滴や油をはじきやすい表面に。レンズに付着した油分なども溶剤を使わず乾いた布で容易に拭き取れます。

新型ISユニットの採用により 手ブレ補正効果が約4.0段分^{*}へ向上

手ブレ補正効果はシャッター速度換算で約4.0段分^{*}にアップ。シャッター速度の低下が気になる場面でも、手持ち撮影を強力にサポートします。

* CIPAガイドライン準拠。焦点距離105mm、EOS-1D X使用時。

動画撮影をサポートする USMの低速駆動化を実現

USMの低速駆動化により、EOS 5D Mark IVのデュアルピクセル CMOS AFとの組み合わせ時に、スムーズな動画撮影をサポートします。



EOS 5D Mark IV EF24-105mm F4L IS II USM 1/20sec F16 ISO1600 WB:太陽光 ピクチャースタイル:風景

*オープン価格の商品は販売店にお問い合わせください。

EF 16-35mm F2.8L III USM

オープン価格(ケース・フード付き)
 JANコード:4549292-037722
 商品コード:0573C001
 レンズ構成:11群16枚
 撮影距離範囲:0.28m~∞
 最大撮影倍率:0.25倍
 フィルター径:82mm
 最大径×長さ:φ88.5mm×127.5mm
 質量:約790g
 同梱アクセサリー:レンズフード EW-88D、
 レンズキャップ E-82 II、レンズポーチ LP1222



“II型”を圧倒する高画質。“16-35mm F2.8L”は、“III型”へ。

開放F2.8の大口徑・超広角ズーム

多くのユーザーの想いに応える高画質化

F2.8という明るさと、超広角ズームレンズならではのダイナミックなパースペクティブが特徴のEF16-35mm F2.8L II USM。幅広い分野のプロをはじめ多くのユーザーに選ばれてきました。その一方でカメラの高画素化が進むにつれて、周辺画質の向上など、より優れた光学性能を持つ後継機への期待が高まっていました。そして、ついにキヤノンの光学技術を惜しみなく投入した“III型”が登場。ユーザーの期待に応える光学性能を搭載。画面全域でLレンズにふさわしい高画質化を実現しました。EOS 5D Mark IVとの連携で、風景をはじめ、建築、天体、ポートレート、スナップ、ドキュメント、報道など、さまざまな撮影シーンに“II型”を圧倒する高画質で応えます。

周辺画質はもちろん

画面全域で飛躍的な画質向上を達成

大口徑GMo両面非球面レンズ2枚、研削非球面レンズ1枚、UDレンズ2枚を採用するなど、高性能レンズを惜しみなく搭載。中心部から周辺部まで画面全域、ズーム全域で高画質化を達成しました。さらにワイド端の歪曲収差、広角レンズで発生しやすい倍率色収差も大幅に低減。総合的な高画質化を実現しました。

SWCとASC、2つの特殊コーティングでフレアとゴーストを大幅に抑制

通常のコーティングでは防げない斜めからの入射光に対しても高い反射防止効果を発揮するSWC。そして垂直に近い角度で入射する光に対し、高い反射防止効果を発揮するASCの2つの特殊コーティングを適切に塗布することで逆光によるフレアやゴーストを大幅に抑制。

悪条件下での撮影にも耐えうる

高い防塵・防滴性能*を実現

メカ構造を見直すことで、優れた耐振動・耐衝撃性を実現。またマウント部、スイッチパネル部、ズームリング部などに防塵・防滴構造*を採用し、水滴やほこりのレンズ内部への侵入を防止。さらにレンズの前後にはフッ素コーティングを塗布、表面に付着した油分や水分を乾いた布などで簡単に除去できます。

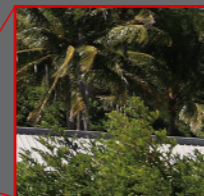
* 十分な防塵・防滴性能の発揮には、PROTECTフィルターの装着が必要です。
 * 防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。防塵・防滴性能を發揮させるため、カメラ本体に装着する必要があります。

撮影倍率は0.25倍に

絞り羽根は9枚にアップ

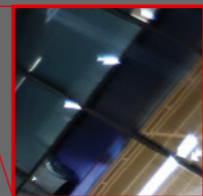
被写体をより大きく写せる0.25倍の撮影倍率。そして9枚羽根の円形絞りによる背景ボケの美しい描写を実現しています。

[周辺画質]



EF16-35mm F2.8L III USM

[倍率色収差比較]



EF16-35mm F2.8L II USM



EF16-35mm F2.8L III USM

[フレア・ゴースト比較]

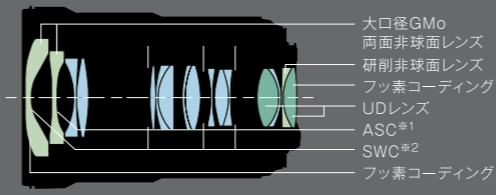


EF16-35mm F2.8L II USM



EF16-35mm F2.8L III USM

[11群16枚で構成されたレンズ構成]



*1 ASC(Air Sphere Coating)
 *2 SWC(Subwavelength Structure Coating)

*オープン価格の商品は販売店にお問い合わせください。



EOS 5D Mark IV EF16-35mm F2.8L III USM 1/250sec F16 ISO400 WB:太陽光 ピクチャースタイル:風景

[各部名称]

- 01 ストラップ取り付け部
- 02 端子カバー
- 03 HDMIミニ出力端子
- 04 シンクロ端子
- 05 外部マイク入力端子
- 06 ヘッドフォン端子
- 07 リモコン端子(N3タイプ)
- 08 デジタル端子
- 13 DCカプラーコード通し部
- 14 ミラー
- 15 レンズ取り付け指標
- 17 レンズロックピン
- 18 内蔵マイク
- 19 レンズロック解除ボタン
- 20 レンズマウント
- 21 端子カバー
- 22 接点
- 23 撮像面マーク
- 24 カードスロットカバー
- 25 ストラップ取り付け部
- 26 SDカードスロット
- 27 CFカードスロット
- 28 CFカード取り出しボタン
- 29 モードダイヤル
- 30 モードダイヤルロック解除ボタン
- 31 電源スイッチ
- 32 ヘンク接続点
- 33 アクセサリーシュー
- 34 GPSアンテナ部
- 35 ホワイトバランス選択／測光モード選択ボタン
- 36 マルチファンクションボタン
- 37 メイン電子ダイヤル
- 38 表示パネル照明ボタン
- 39 ストロボ調光補正／ISO感度設定ボタン
- 40 ドライブモード選択／AF動作選択ボタン
- 41 表示パネル
- 42 視度調整つまみ
- 43 ファインダー-接眼部
- 44 アイカップ
- 45 インフォボタン
- 46 メニューボタン
- 47 クリエイティブフォト／2画面比較再生(2枚表示)ボタン
- 48 レーティングボタン
- 49 インデックス/拡大/縮小ボタン
- 50 再生ボタン
- 51 消去ボタン
- 52 液晶モニター
- 53 スピーカー
- 54 ライブビュー撮影/動画撮影スイッチ/スタート/ストップボタン
- 55 AFスタートボタン
- 56 AERockボタン
- 57 AFフレーム選択ボタン
- 58 クイック設定ボタン
- 59 マルチコントローラー
- 60 測距エリア選択ボタン
- 61 サブ電子ダイヤル
- 62 設定ボタン
- 63 アクセラント
- 64 マルチ電子ロックスイッチ
- 65 外光センサー
- 66 アクセサリー位置決め穴
- 67 三脚ねじ穴
- 68 シリアル番号
- 69 電池室ふた
- 70 電池室ふた開放レバー

[表示パネル]

- 71 絞り数値
- 72 シャッター速度
- 73 AFフレーム選択表示
- 74 ISO感度
- 75 (ISO)ISO表示
- 76 ホワイトバランス
- 77 絞り数値
- 78 (D+)高輝度側・階調優先
- 79 (DPR)DPRRAW撮影
- 80 (S)警告表示
- 81 (H)ハイライト表示/インターバルタイマー撮影
- 82 (CF)CFカード選択マーク
- 83 (E)CFカード装填表示
- 84 露出レベル表示
- 85 AEBレベル
- 86 (M)多重露出撮影
- 87 (L)露出補正
- 88 撮影可能枚数
- 89 (SD)SDカード選択マーク
- 90 (SD)SDカード装填表示
- 91 AF動作
- 92 ONE SHOT ワンショットAF
- 93 AI FOCUS AIフォーカスAF
- 94 AI SERVO AIサーボAF
- 95 SERVO サーボAF
- 96 M FOCUS マニュアルフォーカス
- 97 ドライブモード
- 98 1枚撮影
- 99 高速連続撮影
- 100 低速連続撮影
- 101 ソフト1枚撮影
- 102 ソフト連続撮影
- 103 セルフタイマー: 10秒/リモコン
- 104 セルフタイマー: 2秒/リモコン
- 105 LOGロガー機能
- 106 測光モード
- 107 評価測光
- 108 部分測光
- 109 スポット測光
- 110 電池残量
- 111 (Wi-Fi)Wi-Fi機能
- 112 (GPS)GPS受信状態

[ファインダー内表示]

- 98 スポット測光範囲
- 99 ラージゾーンAFフレーム
- 100 グリッド
- 101 フォーカシングスクリーン
- 102 ドライブモード
- 103 ホワイトバランス
- 104 撮影モード
- 105 電池残量
- 106 水準器
- 107 AF動作
- 108 (D)AFフレーム
- 109 (S)スポットAFフレーム
- 110 エリアAFフレーム
- 111 (S)ストロボ充電完了
- 112 (M)FEロック FEB撮影中
- 113 (H)ハイスピードシンクロ
- 114 (S)ストロボ調光補正
- 115 シャッター速度
- 116 ハルプ(buLb)
- 117 FEロック(FEL)
- 118 データ処理中(buSY)
- 119 マルチ電子ロック警告(L)
- 120 カード未装填警告(Card)
- 121 エラー表示(Err)
- 122 絞り数値
- 123 ダストデリットデータ取得(-)
- 124 AFフレーム選択表示
- 125 (AF)AF, SEL [], SEL AF
- 126 (HP)HP, SEL [], SEL HP
- 127 カード警告(Card 1/2/1.2)
- 128 カードフル警告(FuLL 1/2/1.2)
- 129 露出レベル表示
- 130 露出補正量
- 131 AEBレベル
- 132 ストロボ調光補正量
- 133 (D+)高輝度側・階調優先
- 134 ISO感度
- 135 連続撮影可能枚数
- 136 多重露出残り枚数
- 137 (S)AF動作表示
- 138 測光モード
- 139 JPEG/RAW
- 140 (S)警告表示
- 141 (D)デジタルレンズオプティマイザ
- 142 (M)フリッカー検知
- 143 (DPR)DPRRAW撮影
- 144 (S)AF動作表示
- 145 (D)露出補正
- 146 (ISO)ISO表示
- 147 (S)合焦マーク

一枚一枚を、じっくりと作品へと仕上げるために。

高度なRAW現像で作品づくりをサポート
付属ソフトウェア

Digital Photo Professional 4

イメージする作品へと仕上げるRAW現像ソフトウェア。32*/64bit両ネイティブ環境に対応し、高速化&高画質化を実現。従来版から編集機能も増え、操作性も一新、より直感的なインターフェースを採用しています。

* 32bitの場合、一部使用できない機能があります。
最新のOS対応状況はキヤノンホームページをご確認ください。

[Digital Photo Professional 4の主な機能]

- 特定色域の調整機能(8軸色調整)
- 高輝度側の階調を拡大する「ハイライト」「シャドウ」スライダー機能の画像調整領域拡大
- 動画再生に対応
- JPEG画像にも「オートライティングオプティマイザ」を適用可能
- 100%表示でのセレクト作業の高速化
- 1万枚程度の大量サムネイルも快速表示
- コレクションを20個まで登録可能
- リモート撮影機能の強化可能

[新機能:デュアルピクセルRAWオプティマイザ]

今までにない後処理機能を実現するデュアルピクセルRAW(DPRAW)で記録した画像は3つの後処理が可能です。

○解像感補正*
解像感が低い印象の画像を改善。被写体の奥行き情報に基づいた「解像感の微調整」が可能です。スライダーで、シフト量(奥から手前)、効果の強弱を調整できます。撮り直しのできない画像の解像感を高めたいときなどに有効です。
* 調整後はややノイズが増加します。

○ボケシフト*
意図せず前景に映り込んだボケを、視線をズラすように横方向へシフト可能。前ボケ部分を選んで、スライダーで調整できます。
* 調整後はややノイズが増加します。またボケの形状(輪郭)が不自然になる場合があります。

○ゴースト低減*
画像に現れたゴーストやフレアの領域を選んで

低減することが可能。人工光源下での撮影や逆光時の撮影に有効です。
* 効果が発揮されない場合があります。

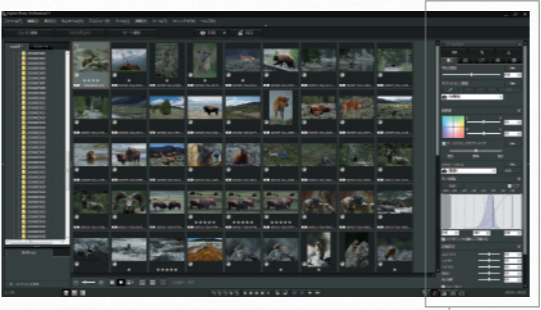
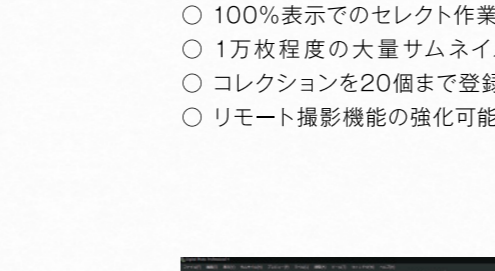
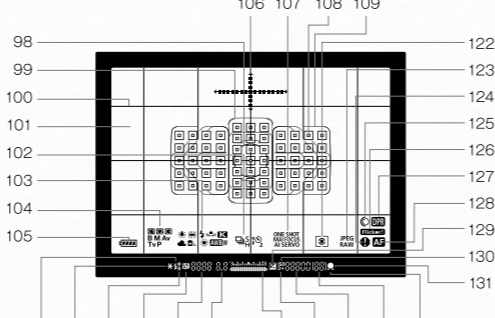
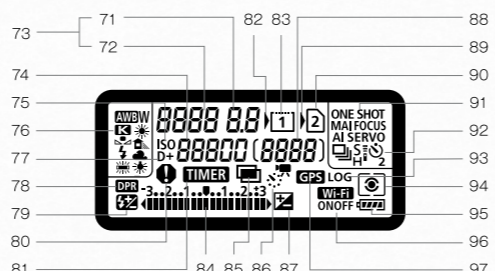
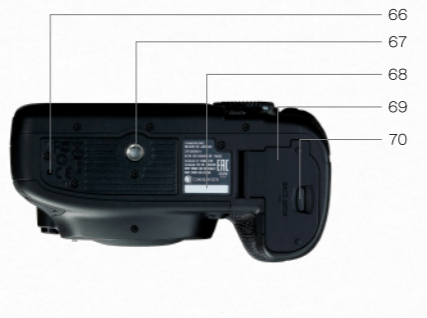
iPadでRAW画像の現像・編集が可能
Digital Photo Professional Express



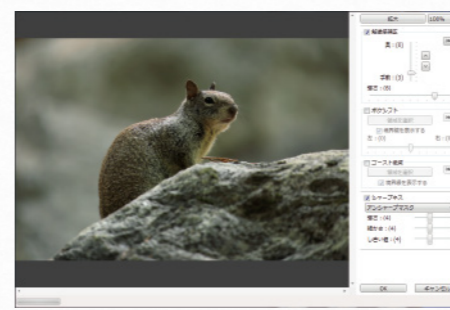
* 2019年10月公開のバージョン1.2から有償となっております。

PC専用の[Digital Photo Professional]がiPad*1*2で楽しめる専用アプリが登場。タッチ操作で直感的にRAW画像の閲覧・編集・現像が可能になりました。撮影現場や自宅、外出先での画像チェックなどもスムーズ。レンズ補正*3をはじめ、明るさ、ピクチャースタイルやホワイトバランス、オートライティングオプティマイザ、トーンの調整、シャープネス、トリミングなど、細かな編集が可能です。JPEGで書き出した画像はカメラロールに保存。タッチ操作で編集作業も快適に行えます。

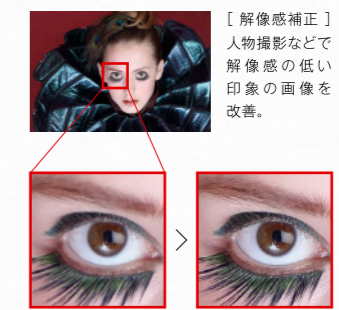
*1 タブレットはiOSのみに対応(Android端末、iOSスマートフォンには非対応)。
*2 PC版の[Digital Photo Professional]との連携機能はありません。またiPad版は、一部の機能は搭載されていません。
*3 PC版の[Digital Photo Professionalの]レンズ補正の一部の機能は搭載されていません。



Digital Photo Professional 4 サムネイル画面



デュアルピクセルRAWオプティマイザ 操作画面



微調整前 微調整後

[解像感補正]
人物撮影などで解像感が低い印象の画像を改善。

A2_{ノビ}



imagePROGRAF PRO-1000 顔料 12色

[進化した高画質]
LUCIA PROインク



全体の色再現性領域が拡大。新規色材を採用したフォトブラックと、新たなブルーインクを搭載することで、暗部領域における繊細な階調表現が可能です。発色性も向上しました。

デュアルピクセルRAWの注意事項: * 2つ以上の処理を同時に使用することはできません。* バッテリーは通常のRAW撮影時よりも消費します。* DPRAWをONにして、記録画質をRAW&RAW+JPEGにすると、高速連続撮影速度が低下します。* 「多重露出撮影」「HDR撮影」「デジタルレンズオプティマイザ」「ワンタッチ記録画質切り換え」「ライブビュー撮影時の連続撮影」の併用はできません。* レンズの絞り数値が開放側の時に、調整量・補正効果が上がります。* 使用するレンズや撮影シーンによっては、十分な調整量・補正効果が得られない場合があります。* カメラの撮影位置(横・縦)によって、調整量・補正効果が変わります。* 撮影条件によっては、十分な調整量・補正効果が得られない場合があります。* その他の注意事項に関してはキヤノンホームページをご覧ください。



●お求めは当店で

2022年11月現在

00000000

00584745